

人類の出現と文明ブリン ト

名前

問1 古代メソポタミア文明において、川のほとりで得られる粘土を板状にし、そこに葦（あし）などの茎の先を押し当てて刻まれた、独特の形状を持つ文字を何といいますか。 (2024年 奈良公立入試 類似)

1. 楔形文字
2. 象形文字
3. 甲骨文字
4. アルファベット

問2 古代エジプト文明の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)

1. ナイル川の氾濫時期を知るために天文学が発達し、太陽暦が作られた。
2. チグリス・ユーフラテス川の流域で米え、粘土板に楔形文字が刻まれた。
3. 時間をはかる単位として60進法が発明され、1週間を7日とする制度が生まれた。
4. 各地に都市国家（ポリス）が成立し、市民による進んだ民主政治が行われた。

問3 日本で小野妹子が遣隋使として派遣された607年頃を含む7世紀初めに、アラビア半島でムハンマドによって創始され、その後の世界の歴史に大きな影響を与えた宗教は何ですか。 (2021年 新潟県公立入試 類似)

1. イスラム教
2. キリスト教
3. 仏教
4. ユダヤ教

問4 紀元前5世紀頃の世界各地の統治形態を比較したとき、当時のギリシャにおける状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 大分県公立入試 類似)

1. 有力な王や皇帝が広大な領土を一括して支配する中央集権的な国家が形成されていた。
2. ポリスと呼ばれる小規模な都市国家が数多く成立し、それぞれが独立して統治を行っていた。
3. ピラミッドを建設した王のように、神の化身としての絶対的な権力を持つ個人による統治が主流であった。
4. 万里の長城などの大規模な土木作業を国家の総力で指揮する、強力な皇帝による統治が行われていた。

問5 メソポタミア文明において、太陽暦や楔形文字といった文化が発達した地理的な背景として、適切な説明はどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)

1. チグリス川とユーフラテス川という二つの大河の恵みにより農業が発達し、収穫物の管理や記録の必要性が生じたため。
2. ナイル川が毎年決まった時期に氾濫するため、その時期を正確に把握するための測量術や暦が必要となったため。
3. インダス川流域のような計画的な都市構造を持たなかったため、個別の住宅で排水を管理する必要があったため。
4. 広大な黄河流域において、天の意思を占うための記録媒体として粘土が最も入手しやすかったため。

問6 1492年に製作された現存する世界最古の地球儀には、当時のヨーロッパ人が存在を知らなかった南北アメリカ大陸が描かれていません。この大陸の南部に位置するアンデス山脈を中心に、16世紀前半にスペイン人に滅ぼされるまで独自の石造建築文化を築いた帝国を何といいますか。 (2026年 大阪公立入試 類似)

1. インカ帝国
2. アステカ文明
3. マヤ文明
4. インダス文明

問7 紀元前2500年ごろ、インド亜大陸北西部のインダス川流域に成立した古代文明について、モヘンジョ・ダロやハラッパなどの遺跡に見られる都市の大きな特徴として最も適切なものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)

1. 下水道や公衆浴場などが整備された、高度な計画都市が建設された
2. 国王の権威を示すために、巨大な石造りのピラミッドや神殿が建設された
3. ジグuratと呼ばれる聖塔を中心とした、複数の都市国家が形成された
4. 青銅器とともに甲骨文字が用いられ、大規模なかんがい農業が行われた

問8 古代エジプト文明の特色について述べた説明として、文化的な特徴と建築物の組み合わせが正しいものはどれですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)

1. 事物の形をかたどった象形文字（ヒエログリフ）を使用し、王の墓とされるピラミッドを建設した。
2. 粘土板に刻まれた楔形文字を使用し、天体観測の結果をピラミッドの壁面に記録した。
3. 亀の甲羅などに刻まれた甲骨文字を使用し、ナイル川のはんらんを鎮める儀式を行った。
4. 太陽暦を用いてはんらん時期を予測し、ジグuratと呼ばれる聖なる塔を各地に建設した。

問9 7世紀頃の世界情勢において、大国であるビザンツ帝国とササン朝が長年対立した結果、従来の交易路が避けられるようになりました。これに代わる新しい中継貿易のルートとして繁栄し、ムハンマドが活動を始めたアラビア半島の都市はどこですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)

1. エルサレム
2. ローマ
3. メッカ
4. バグダード

問10 宗教の歴史について、7世紀のアラビア半島を中心に興ったイスラム教の成り立ちとして最も適切な記述はどれか。 (2026年 三重公立入試 類似)

1. ムハンマドが唯一神アラーから受けた啓示に基づき創始した。
2. シャカが修行を通じて、人間の苦しみを克服する教えを説いた。
3. パレスチナ地方でイエスが説いた教えを弟子たちが広めた。
4. インドの伝統的な信仰とアーリヤ人の宗教が結びついて成立した。

問11 弥生時代から古墳時代にかけての道具の使用目的や技術的特徴について、正しい説明を述べているものはどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)

1. 大陸から伝わった技術により、高温の窯で焼かれた灰色で硬質の須恵器が作られるようになった。
2. 狩猟や採集が中心の生活の中で、食料を保存するために表面が硬い打製石器が開発された。
3. 稲作が始まったことで、土を耕すための道具として縄文土器が各地で広く使われるようになった。
4. 定住生活が始まったことで、木の実を粉にするために、網目の文様をつけた磨製石包丁が考案された。

問12 7世紀の世界のできごとを記した年表において、ムハンマドという人物がアラビア半島でおこしたとされる宗教について、その教義と聖典の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 沖縄公立入試 類似)

1. 唯一神アッラーを信仰し、信者同士の助け合いなどの正しい行いを説き、『コーラン』を聖典とする。
2. 救世主としてのイエスを信じ、隣人愛を説き、『新約聖書』を聖典とする。
3. 悟りを開くことで苦しみから解放されると説き、多くの『経典』を聖典とする。
4. 万物に神が宿ると考え、自然を崇拜し、特定の聖典を持たない。

問13 四大文明において発達した文字のうち、中国の黄河文明の流れを汲む「甲骨文字」に関する説明として、他の文明の文字と混同しないよう正しく述べたものはどれか次の中から選びなさい。 (2020年 新潟県公立入試 類似)

1. 亀の甲羅や動物の骨に刻まれた象形文字であり、東アジアで広く使われる漢字の起源となった。
2. メソポタミアで発達し、粘土板に葦の茎を押し当てることで鋭い直線の組み合わせとして表現された。
3. エジプトで発達し、パピルスと呼ばれる紙のような材料に宗教儀礼の内容などが記された。
4. インダス川流域で見つかった石の印章などに刻まれており、現在も解読が進んでいない文字である。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 楔形文字	ティグリス川・ユーフラテス川流域のメソポタミアでは、石材やパピルスが少なかった一方で、質の良い粘土が豊富に得られました。そのため、乾く前の粘土板に尖った道具を押し当てて記録する手法が発達しました。その刻み跡が「くさび」の形に見えることから、この名称と呼ばれています。
問2	答え 1 ナイル川の氾濫時期を知るために天文学が発達し、太陽暦が作られた。	エジプトは「ナイルのたまもの」と呼ばれるように、ナイル川の定期的な氾濫が肥沃な土壌をもたらし、農業を発展させました。この氾濫の時期を正確に知る必要から天文学が進歩し、太陽暦が生まれました。他の選択肢にある楔形文字、60進法、1週間を7日とする制度はメソポタミア文明の特徴であり、都市国家（ポリス）や民主政治は古代ギリシャの特徴です。
問3	答え 1 イスラム教	ムハンマドは7世紀初めに唯一神アッラーの啓示を受けたとして、アラビア半島のメッカでイスラム教を開きました。この時期の日本は飛鳥時代にあたり、聖徳太子（厩戸王）が隋（中国）へ小野妹子を派遣して大陸の制度を学ばせ、中央集権国家の確立を目指していた時期と重なります。
問4	答え 2 ポリスと呼ばれる小規模な都市国家が数多く成立し、それぞれが独立して統治を行っていた。	紀元前5世紀頃のギリシャは、エジプトや後に登場する秦・ローマ帝国のような大規模な統一国家ではなく、「ポリス」と呼ばれる自立した都市国家が集まって構成されていました。アテナやスパルタといった各ポリスは独自の統治を行っており、特にアテナでは市民による民主政が発達するなど、広域を支配する君主制とは異なる政治文化を持っていました。
問5	答え 1 チグリス川とユーフラテス川という二つの大河の恵みにより農業が発達し、収穫物の管理や記録の必要性が生じたため。	農業の発達により集団生活が大規模化すると、神殿での貢納品の管理や商業取引の記録が必要になりました。そこで身近にあった粘土を利用して楔形文字が刻まれ、農業に不可欠な時期の把握のために暦が発達しました。ナイル川の氾濫はエジプト文明、計画的な都市構造はインダス文明、占いによる記録は中国文明の文脈です。
問6	答え 1 インカ帝国	南アメリカ大陸のアンデス山脈沿いに広まったこの帝国は、文字を持たない代わりに「キープ」と呼ばれる紐の結び目で情報を記録し、マチュピチュのような高地都市や精巧な石造建築を発達させました。1492年の地球儀に描かれていないのは、コロンブスの到達以前でヨーロッパにその存在が知られていなかったためですが、16世紀にピサロ率いるスペイン人によって征服されました。
問7	答え 1 下水道や公衆浴場などが整備された、高度な計画都市が建設された	インダス文明の代表的な遺跡であるモヘンジョ・ダロやハラッパは、焼成レンガを用いた整然とした街並みが大きな特徴です。特に、網の目のように張り巡らされた排水用の下水道や、共同で利用されたと考えられる大規模な公衆浴場などは、当時の技術水準が極めて高く、都市が極めて計画的に設計されていたことを物語っています。
問8	答え 1 事物の形をかたどった象形文字（ヒエログリフ）を使用し、王の墓とされるピラミッドを建設した。	エジプト文明では、事物の形を簡略化した象形文字（ヒエログリフ）が用いられ、王（ファラオ）の権力を象徴するピラミッドなどの巨大建築物が造られました。楔形文字やジグuratはメソポタミア文明、甲骨文字は中国文明の特徴であり、それぞれ発生した地域や背景が異なります。
問9	答え 3 メッカ	当時のビザンツ帝国とササン朝の戦争を避けるため、商人はアラビア半島を経由するルートを多用するようになりました。その中継地点として繁栄したメッカは、イスラム教の創始者ムハンマドの出身地であり、現在もイスラム教の最も重要な聖地とされています。
問10	答え 1 ムハンマドが唯一神アラーから受けた啓示に基づき創始した。	アラビア半島のメッカに生まれたムハンマドが、唯一神アラーの啓示を受けて創始したのがイスラム教です。他の選択肢について、シャカは仏教、イエスはキリスト教、インドの伝統信仰との結びつきはヒンドゥー教の成り立ちを説明したものです。
問11	答え 1 大陸から伝わった技術により、高温の窯で焼かれた灰色で硬質の須恵器が作られるようになった。	古墳時代には、朝鮮半島から渡来した人々の技術によって、従来の赤褐色の土器（埴輪や土師器など）とは異なる、窯を用いた高温焼成の「須恵器」が生産されるようになりました。磨製石包丁は弥生時代に稲刈りの道具として使われたものであり、縄文土器は縄文時代の煮炊き用具、打製石器は旧石器時代の狩猟・加工用具であるため、それぞれの時代背景や用途と一致しません。
問12	答え 1 唯一神アッラーを信仰し、信者同士の助け合いなどの正しい行いを説き、『コーラン』を聖典とする。	イスラム教は7世紀にムハンマドによって創始されました。唯一神アッラーを信じる一神教であり、その教えは聖典『コーラン』にまとめられています。教義の中では、信仰だけでなく、信者同士の連帯や助け合いといった社会的な実践（善行）も強く推奨されているのが特徴です。
問13	答え 1 亀の甲羅や動物の骨に刻まれた象形文字であり、東アジアで広く使われる漢字の起源となった。	古代文明で生まれた文字はそれぞれ特徴的な素材に記されました。メソポタミアの楔形文字は粘土板に、エジプトのヒエログリフはパピルスや石碑に、インダス文字は印章に記されています。これらに対し、中国の殷で生まれた甲骨文字は亀の甲羅や獣骨を媒体とした点が特徴です。また、他の文字の多くが減じたり音を表す文字に変化したりした中で、甲骨文字は意味と音を併せ持つ漢字の直接の祖先として、現代までその系統が続いている点で非常に特異な存在と言えます。

人類の出現と文明ブリン ト

名前

- 問1 鎌倉時代後期の1281年に起きた「弘安の役」について、その時の中国の王朝と当時の日本の状況を説明した文として正しいものを選びなさい。
(2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. モンゴル帝国が国号を改めた元という王朝が侵攻し、北条時宗を中心とする鎌倉幕府が防戦にあたった。 | 2. 唐という王朝が朝鮮半島の新羅と結んで攻めてきたため、日本は太宰府に水城を築いて防御を固めた。 | 3. 漢という王朝の皇帝から金印を授かったことで、日本国内の有力な王としての地位を確立しようとした。 | 4. 明という王朝との間で正式な外交関係を結び、倭寇の取り締まりを条件に貿易を開始した。 |
|--|---|--|--|
- 問2 古代文明の文化や技術に関する記述のうち、古代エジプト文明について述べたものとして最も適切なものはどれですか。
(2023年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 農作業の時期を把握するために太陽の動きに基づいた暦が作られ、神殿の壁などには神聖文字が刻まれた。 | 2. 月の満ち欠けに基づいた暦が使用され、粘土板には楔（くさび）のような形の文字が書き残された。 | 3. 亀の甲羅や動物の骨に文字を刻み、それを用いて国家の重大な事柄を占う政治が行われた。 | 4. インダス川流域で発達し、印章などに独自の文字が刻まれたが、現在もその多くは解読されていない。 |
|---|--|--|---|
- 問3 ローマ教皇を頂点とするキリスト教の宗派で、中世ヨーロッパにおいて、教会の組織を通じて政治や人々の生活など、社会のあらゆる面に多大な影響力を及ぼした組織を何といいますか。
(2021年 徳島公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|------------|--------|-------|
| 1. カトリック | 2. プロテスタント | 3. 正教会 | 4. 仏教 |
|----------|------------|--------|-------|
- 問4 西アジアのチグリス川とユーフラテス川の流域で発達し、現在のイラク付近に位置した古代文明において、粘土板に刻んで使われていた文字と、月の満ち欠けに基づいた暦の組み合わせとして正しいものはどれですか。
(2017年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|---------------|-------------|-------------|
| 1. くさび形文字と太陰暦 | 2. くさび形文字と太陽暦 | 3. 象形文字と太陰暦 | 4. 象形文字と太陽暦 |
|---------------|---------------|-------------|-------------|
- 問5 中国文明の初期の王朝である殷（いん）では、政治や軍事に関する重要な事柄を決定する際、ある特別な方法が用いられていました。その方法と、それに関連して生まれた文化的な特徴について説明したものとして正しいものはどれですか。
(2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 石碑に刻まれたハンムラビ法典に基づき、厳格な裁判によって国家の秩序を維持した。 | 2. 亀の甲羅や牛の骨を焼いて現れたひびの形で神の意志を占う「骨占い」を行い、その結果を甲骨文字で記録した。 | 3. パピルスと呼ばれる草の茎から作られた紙に、象形文字を用いて王の業績を詳しく記録した。 | 4. インダス文字を用いた印章を使い、農産物や家畜の取引内容を正確に管理することで経済を安定させた。 |
|--|--|---|--|
- 問6 南アメリカ大陸の歴史的背景について述べた次の説明のうち、16世紀以降のスペインによる植民地支配の影響を正しく示しているものはどれですか。
(2023年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. インカ帝国などの先住民の国家が滅ぼされ、ヨーロッパ流の都市や制度が造られた | 2. ブラジルを中心にポルトガル語が広まり、東回りの航路で伝わった文化が融合した | 3. 北アメリカと同様に、主にイギリスからの移住者が農業を基盤とした植民地を築いた | 4. 仏教やイスラム教がアジアから持ち込まれ、現地の伝統的な信仰と結びついた |
|--|--|---|--|
- 問7 大航海時代以降、南アメリカ大陸の太平洋側に位置する多くの国々では、現在もスペイン語が公用語として使用されています。このように、特定の地域の言語や文化がヨーロッパの国家の影響を強く受けることになった歴史的な経緯として、最も適切なものはどれですか。
(2023年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|--|---|
| 1. スペインがこの地域を植民地として支配し、自国の言語や宗教を広めたため | 2. イギリスがこの地域の国々と自由貿易協定を結び、英語教育を普及させたため | 3. ポルトガルが南アメリカ大陸の全域を占領し、ラテン系の文化を強制したため | 4. 地元の先住民がヨーロッパとの交流を深める中で、自発的にスペイン語を国語として採用したため |
|---------------------------------------|--|--|---|
- 問8 1492年に製作された現存する世界最古の地球儀には、当時のヨーロッパ人が存在を知らなかった南北アメリカ大陸が描かれていません。この大陸の南部に位置するアンデス山脈を中心に、16世紀前半にスペイン人に滅ぼされるまで独自の石造建築文化を築いた帝国を何といいますか。
(2026年 大阪公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|---------|-----------|
| 1. インカ帝国 | 2. アステカ文明 | 3. マヤ文明 | 4. インダス文明 |
|----------|-----------|---------|-----------|
- 問9 古代文明では、政治の記録や商業のやり取り、カレンダーの作成などのために独自の文字が発明されました。文明の名称と、その拠点となった河川、および使用された文字の組み合わせとして正しいものはどれですか。
(2018年 高知公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|----------------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 1. エジプト文明 – ナイル川 – 象形文字（ヒエログリフ） | 2. メソポタミア文明 – インダス川 – 楔形文字 | 3. インダス文明 – 黄河 – インダス文字 | 4. 中国文明 – チグリス・ユーフラテス川 – 甲骨文字 |
|---------------------------------|----------------------------|-------------------------|-------------------------------|
- 問10 日本で最初の元号とされる「大化」が使われ、大化の改新などの国づくりが進められていた7世紀の西アジアにおいて、ムハンマドによって新しく開かれた宗教の名称を答えなさい。
(2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------|----------|-----------|
| 1. イスラム教 | 2. 仏教 | 3. キリスト教 | 4. ヒンドゥー教 |
|----------|-------|----------|-----------|
- 問11 中国の始皇帝陵の近くで発見された、陶製の兵士や馬が並ぶ「兵馬俑」に関する説明として、当時の政治や社会の様子をふまえたものとして最も適切なものはどれですか。
(2015年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 一体ごとに異なる表情や服装で製作されており、始皇帝の強大な軍事力と中央集権的な権力を象徴している。 | 2. 万里の長城の建設に従事した労働者たちの労をねぎらうため、その姿を写実的に記録したものである。 | 3. シルクロードを通じた西方文化の影響を受け、古代ローマの石像彫刻の技術をそのまま取り入れて作られた。 | 4. 仏教を国教とした始皇帝が、寺院を警備する武神として各地の寺院の地下に配置させたものである。 |
|--|---|--|--|
- 問12 7世紀頃の世界情勢において、大国であるビザンツ帝国とササン朝が長年対立した結果、従来の交易路が避けられるようになりました。これに代わる新しい中継貿易のルートとして繁栄し、ムハンマドが活動を始めたアラビア半島の都市はどこですか。
(2019年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|--------|----------|
| 1. エルサレム | 2. ローマ | 3. メッカ | 4. バグダード |
|----------|--------|--------|----------|
- 問13 インダス文明の遺跡からは、動物などの図案とともに文字が刻まれた石造りの印章が多数発見されています。この文明で用いられた文字や、その背景について述べた文として正しいものはどれですか。
(2018年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 独自の文字が刻まれているが、現在においても解読されていない | 2. 粘土板に楔形文字が刻まれ、周辺地域との交易の記録として使われた | 3. パピルスにヒエログリフで記され、王の事績や神話が記録されていた | 4. 亀の甲羅や動物の骨に刻まれ、占いを通じて政治の判断に用いられた |
|----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 モンゴル帝国が国号を改めた元という王朝が 侵攻し、北条時宗を中心とする鎌倉幕府が防 戦にあたった。	13世紀後半、フビライ・ハンが国号を定めた「元」は、日本に対して服属を要求し、文永の役（1274年）と弘安の役（1281年）の二度にわたって侵攻しました。これを迎え撃ったのは、鎌倉幕府の執権であった北条時宗です。唐や新羅との戦いは7世紀の白村江の戦い、金印の授与は1世紀の漢（後漢）との交流、明との貿易は室町時代の出来事です。
問2	答え 1 農作業の時期を把握するために太陽の動きに 基づいた暦が作られ、神殿の壁などには神聖 文字が刻まれた。	古代エジプトは「ナイルのたまもの」と称されるように、川の氾濫がもたらす肥沃な土壌によって農業が発展しました。そのため、氾濫の周期を正確に捉える太陽暦の発達は生存に直結する重要な技術でした。神聖文字（ヒエログリフ）は、パピルスという植物から作られた紙に書かれるほか、石碑や神殿に刻まれて記録として残されました。他の選択肢は順に、メソポタミア文明、中国文明、インダス文明の説明です。
問3	答え 1 カトリック	中世ヨーロッパでは、ローマ教皇を首長とするカトリック教会が精神的な支えとしてだけでなく、政治的にも大きな権威を持っていました。これに対し、16世紀の宗教改革以降に誕生した宗派をプロテスタント、ビザンツ帝国を中心に発展した宗派を正教会と呼び、区別されます。
問4	答え 1 くさび形文字と太陰暦	西アジアの「肥沃な三日月地帯」で成立したメソポタミア文明は、チグリス川とユーフラテス川という2本の河川の恩恵を受けて発展しました。この文明では、乾燥させた粘土板に葦の茎などで刻む「くさび形文字」が発明され、記録や商取引に利用されました。また、天体観測により月の満ち欠けを基準とする「太陰暦」が作られ、これが後の暦の基礎となりました。ナイル川流域のエジプト文明（象形文字・太陽暦）と知識が混同されやすいため、河川の名前と文化の特徴をセットで整理することが重要です。
問5	答え 2 亀の甲羅や牛の骨を焼いて現れたひびの形で 神の意志を占う「骨占い」を行い、その結果 を甲骨文字で記録した。	古代の中国文明では、王が政治や祭祀を司る際、神の意志を確認するための占いが非常に重視されていました。この占いの結果を記録するために使われたのが甲骨文字です。このように、宗教的な儀式と政治が一体となった統治が行われていたことが、中国文明の大きな特徴の一つです。
問6	答え 1 インカ帝国などの先住民の国家が滅ぼされ、 ヨーロッパ流の都市や制度が造られた	スペインから派遣された征服者（コンキスタドール）たちは、現在のペルー周辺に栄えていたインカ帝国などを滅ぼし、その地に植民地を建設しました。この過程で先住民の社会構造は破壊され、スペイン式の統治制度やキリスト教が導入されることになりました。なお、南アメリカでポルトガルの支配を受けたのは主に現在のブラジルにあたる地域です。
問7	答え 1 スペインがこの地域を植民地として支配し、 自国の言語や宗教を広めたため	15世紀末から始まる大航海時代、スペインは金や銀などの資源や領土を求めてアメリカ大陸へ進出しました。特に南アメリカ大陸の太平洋側に位置する地域（現在のペルーやチリなど）を広範囲にわたって植民地として支配したため、支配国であるスペインの言語やキリスト教（カトリック）が定着し、現在まで続く文化的な基盤となりました。
問8	答え 1 インカ帝国	南アメリカ大陸のアンデス山脈沿いに広まったこの帝国は、文字を持たない代わりに「キープ」と呼ばれる紐の結び目で情報を記録し、マチュピチュのような高地都市や精巧な石造建築を発達させました。1492年の地球儀に描かれていないのは、コロンブスの到達以前でヨーロッパにその存在が知られていなかったためですが、16世紀にピサロ率いるスペイン人によって征服されました。
問9	答え 1 エジプト文明 - ナイル川 - 象形文字（ヒエログリフ）	エジプト文明は「ナイルのたまもの」と呼ばれる通り、ナイル川の定期的な増水がもたらす肥沃な土壌によって発展し、パピルスなどに記される象形文字を使用しました。メソポタミア文明はチグリス・ユーフラテス川、インダス文明はインダス川、中国文明は黄河や長江の流域でそれぞれ成立しており、河川と文明の正しい対応を把握しておくことが重要です。
問10	答え 1 イスラム教	7世紀の西アジアでは、ムハンマドが唯一神アッラーの教えを説くイスラム教を創始しました。この時期の日本は飛鳥時代にあたり、聖徳太子の政治や大化の改新（645年）が行われていた時代と一致します。シャカによる仏教やギリシャのポリス形成は紀元前の出来事であり、イエスによるキリスト教の成立は1世紀のことです。
問11	答え 1 一体ごとに異なる表情や服装で製作されてお り、始皇帝の強大な軍勢力と中央集権的な権 力を象徴している。	秦の始皇帝は、法に基づく統治と中央集権化を進め、圧倒的な軍力で戦国時代を終結させました。兵馬俑にみられる等身大で写実的な兵士の隊列は、皇帝が掌握していた組織化された軍隊を再現したものであり、死後もその支配を継続しようとする皇帝の執念と権力の大きさを表しています。なお、仏教が中国に伝来するのは後漢の時代であり、秦の時代ではありません。
問12	答え 3 メッカ	当時のビザンツ帝国とササン朝の戦争を避けるため、商人はアラビア半島を経由するルートを多用するようになりました。その中継地点として繁栄したメッカは、イスラム教の創始者ムハンマドの出身地であり、現在もイスラム教の最も重要な聖地とされています。
問13	答え 1 独自の文字が刻まれているが、現在において も解読されていない	インダス文明の印章に刻まれた「インダス文字」は、象形文字の一種と考えられていますが、ロゼッタ・ストーンのような解読の鍵となる資料が見つかっていないため、現在もその内容は解読されていません。選択肢にある楔形文字はメソポタミア文明、ヒエログリフはエジプト文明、甲骨文字は中国文明（殷）において使用されたものです。

人類の出現と文明ブリン
 ト

名前

問1 中国の黄河流域で発見された、亀の甲羅や牛の骨に複雑な形状の文字が刻まれた資料について、この文字を使用していた王朝とその背景の説明として最も適切なものはどれですか。
 （2020年 三重公立入試 類似）

1. 殷の時代に、王が政治の重要事項を占った結果などを記録するために使用された。
2. 秦の時代に、始皇帝が文字を統一して全国で公式に使用するために定めた。
3. 漢の時代に、儒教の教えを広く民衆に伝えるための石碑に刻むために作られた。
4. 隋の時代に、科挙の試験を正確に実施するために標準化された書体として広まった。

問2 チグリス川とユーフラテス川の流域で栄えた古代文明において、粘土板に刻んで使用された文字と、のちに全土を統一した王によって制定された「目には目を、歯には歯を」という報復の原則で知られる法典の組み合わせとして正しいものはどれですか。
 （2026年 岐阜公立入試 類似）

1. 楔形文字 — ハムムラビ法典
2. 象形文字 — ハムムラビ法典
3. 楔形文字 — 十二表法
4. 象形文字 — 十二表法

問3 アフリカのナイル川流域で発展した古代エジプト文明において、川の定期的な増水を予測し、農作の時期を正確に把握するために作成された暦（こよみ）を何といいますか。
 （2026年 沖縄公立入試 類似）

1. 太陽暦
2. 太陰暦
3. 二十四節気
4. グレゴリオ暦

問4 世界の四大文明は、アフリカのナイル川、南アジアのインダス川、東アジアの黄河や長江といった大河の流域で成立しました。これらの文明が大河の周辺で発展した理由について、当時の社会の仕組みの観点から説明したものととして最も適切なものはどれですか。
 （2018年 高知公立入試 類似）

1. 大規模な灌漑や治水工事を行うために、人々を効率よく組織し、まとめる強力な指導者が現れて国家が形成されたから。
2. 大河は他民族の侵入を完全に防ぐ天然の壁となり、軍隊を持つ必要がなくなったことで文化の研究に専念できたから。
3. 河川の急流を利用した水車によってエネルギーを確保し、それを用いて青銅器や鉄器を大量生産する工業化に成功したから。
4. 大河の周辺には、ピラミッドや巨大な城壁などの石造建築物を作るために必要な良質の石材が、世界で唯一豊富に存在したから。

問5 日本の縄文時代において製作された「土偶」について、その目的や背景を説明した文として最も適切なものを選びなさい。
 （2025年 京都公立入試 類似）

1. 自然の力への畏敬の念を持ち、豊かな収穫やまじない、安産などを祈るための道具として作られた。
2. 大規模な古墳が造られる中で、亡くなった支配者の権力を象徴し、その死後を守るための副葬品として作られた。
3. 大陸から伝わった稲作技術が広まる中で、収穫した稲を保存するための高床倉庫の装飾として作られた。
4. 律令制度のもとで、成人男性が都へ赴いて労働の代わりに納める税の一種として、全国で均一に作られた。

問6 南アメリカのアンデス山脈付近に位置する世界遺産の遺構「マチュピチュ」を築いた文明について、その特徴を説明したものととして最も適切なものはどれですか。
 （2022年 三重公立入試 類似）

1. カミソリの刃も通さないほど精巧な石造建築物を築き、山岳地帯に広大な道路網を整備した。
2. 強大な騎馬軍団による機動力を活かしてユーラシア大陸にまたがる史上最大の帝国を築いた。
3. インド亜大陸においてイスラム文化とインド固有の文化を融合させ、タージ・マハルを建立した。
4. 地中海東岸を拠点に海上交易で活躍し、のちのアルファベットの原型となる文字を考案した。

問7 古代文明は、農耕に適した大河の流域で発展しました。現在のパキスタン付近を流れる河川の流域で成立し、モヘンジョ・ダロなどの計画的な都市を築いた文明として正しいものを次の中から選びなさい。
 （2025年 愛知公立入試 類似）

1. インダス文明
2. メソポタミア文明
3. 黄河文明
4. エジプト文明

問8 11世紀末、ローマ教皇の呼びかけにより、キリスト教の聖地であるエルサレムをイスラム教勢力から奪還することを目的に組織された軍隊を何といいますか。
 （2023年 青森県公立入試 類似）

1. 十字軍
2. 宗教改革
3. 異端審問
4. ルネサンス

問9 奈良の平城京にある東大寺の正倉院には、聖武天皇の遺愛品などが数多く納められています。その中にある「螺鈿紫檀五絃琵琶（らでんしたんのごげんびわ）」などの工芸品は、中央アジアや西アジアの影響を受けた国際色豊かなデザインが特徴です。これらの文物が唐の都である長安を経て日本へ伝わる際に通った、中国と西方を結ぶ陸上の交易路を何と呼びますか。
 （2014年 沖縄公立入試 類似）

1. シルクロード（絹の道）
2. 海の道（香辛料の道）
3. ステップの道（草原の道）
4. 茶馬古道

問10 中国の河南省安陽市にある「殷墟（いんきょ）」と呼ばれる遺跡から大量に出土し、当時の王朝の存在を証明する決定打となった史料を、その特徴に基づいて説明しているものはどれですか。
 （2025年 大阪公立入試 類似）

1. 亀の甲羅や動物の骨に刻まれており、占いの内容が記録されている資料
2. ピラミッドの内部に描かれており、王の復活を願う呪文が記された資料
3. パピルスと呼ばれる植物の茎から作られた紙に、当時の法律を記した資料
4. 竹を細長く割ったものに、官僚の採用試験の内容を記録した資料

問11 日本の原始・古代における4つの代表的な資料（打製石器、青銅器、埴輪、和同開珎）を、出現した時期が古いものから順に並べたものとして正しいものはどれですか。
 （2014年 愛媛公立入試 類似）

1. 打製石器 → 青銅器 → 埴輪 → 和同開珎
2. 打製石器 → 埴輪 → 青銅器 → 和同開珎
3. 青銅器 → 打製石器 → 埴輪 → 和同開珎
4. 打製石器 → 青銅器 → 和同開珎 → 埴輪

問12 ナイル川の流域で栄えた古代エジプト文明では、農耕に大きな影響を与える川のはらん時期を正確に知る必要がありました。そのために天文学が発達しましたが、その結果として作られ、現代の暦の基礎ともなったものはどれですか。
 （2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. 太陽の動きを基準とし、1年を365日とする太陽暦
2. 月の満ち欠けを基準とし、約29.5日を1か月とする太陰暦
3. 時間を60秒、60分で区切るなど、数え方の基礎となった60進法
4. 農作業の記録をつけるために考案された、粘土板に刻む楔形文字

問13 シルクロードを介した東西の文化交流に関する記述として、歴史的背景をふまえた最も適切な説明はどれですか。
 （2016年 京都公立入試 類似）

1. 中国から西方へ絹織物が運ばれる一方で、西方からはぶどうなどの産物や仏教が伝わり、内陸のオアシス都市が中継地として栄えた。
2. 中国の特産品である綿織物をヨーロッパへ届けるため、内陸部に大規模な鉄道網が整備され、敦煌などの都市が工業都市として発展した。
3. 西方から中国へ紙の製造技術が伝えられたことで、中国国内での仏教の布教が急速に進み、シルクロード沿いに寺院が建立された。
4. 地中海沿岸で生産された絹織物を中国へ運ぶことを主目的として、アジア諸国が協力して広大な交易路を管理・運営した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 殷の時代に、王が政治の重要事項を占った結果などを記録するために使用された。	殷の王は、祭祀や戦争、農作物の収穫などの重要事項を、亀の甲羅や牛の骨を焼いたときに入る「ひび」の形で占っていました。その占いの内容や結果を刻んだものが甲骨文字であり、当時の政治が宗教的な権威に基づいていたことを示しています。
問2	答え 1 楔形文字 ― ハンムラビ法典	メソポタミア文明では、シュメール人が楔形文字を発明し、身近に得られた粘土を板状にしたものに記録を残しました。また、バビロニアのハンムラビ王は、領土内の秩序を維持するために、犯罪に対して同等の罰を与える原則を含むハンムラビ法典を編纂し、中央集権的な国家の基礎を築きました。象形文字はエジプト文明、十二表法は古代ローマの法典であるため、これらとは区別が必要です。
問3	答え 1 太陽暦	ナイル川は毎年決まった時期に増水し、周囲に肥沃な土壌をもたらしました。この氾濫の周期を把握することは、農業を行う上で極めて重要であったため、天体の動きを観察することで1年を365日とする太陽暦が考案されました。これは後にローマで採用され、現在の暦の基礎となりました。
問4	答え 1 大規模な灌漑や治水工事を行うために、人々を効率よく組織し、まとめ上げる強力な指導者が現れて国家が形成されたから。	大河の流域で農業生産を安定させるためには、洪水を防ぐ治水や、田畑に水を引く灌漑といった大規模な土木作業が不可欠でした。これらの作業を統率する過程で、強力な権力を持つ王や指導者が現れ、階級や税の仕組み、文字による記録体系を持つ「国家」という組織が整えられていきました。
問5	答え 1 自然の力への畏敬の念を持ち、豊かな収穫やまじない、安産などを祈るための道具として作られた。	縄文時代の人々は、狩猟や採集による生活を営む中で、あらゆる自然物に靈魂が宿ると考えるアニミズム的な世界観を持っていました。土偶は、そうした信仰の中で、大地の豊穡や子孫繁栄、病気やけがの治癒を祈るための呪術的な対象として用いられました。選択肢にある「古墳の副葬品」は古墳時代の埴輪などの説明であり、「律令制度の税」は飛鳥・奈良時代の「庸」などの説明にあたります。
問6	答え 1 カミソリの刃も通さないほど精巧な石造建築物を築き、山岳地帯に広大な道路網を整備した。	インカ帝国は、高地という厳しい自然環境に適応し、山々の斜面に段々畑を作ったり、石を精密に加工して宮殿や神殿を建設したりしました。この高度な石造技術は、現代の建築家も驚くほどの精度を誇ります。他の選択肢はそれぞれモンゴル帝国、ムガル帝国、フェニキアに関する説明です。
問7	答え 1 インダス文明	インダス文明は、現在のインドの国名の語源ともなったインダス川の流域で発展しました。この文明では、レンガを用いた整然とした街並みや下水道を備えた都市遺跡が見つかっています。他の選択肢にあるメソポタミア文明はチグリス・ユーフラテス川、黄河文明は黄河、エジプト文明はナイル川の流域でそれぞれ発生した文明です。
問8	答え 1 十字軍	聖地エルサレムの奪還を目的として、11世紀末から約200年にわたって派遣された軍事遠征の名称です。この遠征の結果、ヨーロッパの人々がイスラム世界の高度な文化に触れることとなり、その後の地中海貿易の活発化や、中世ヨーロッパ社会の変容に大きな影響を与えました。
問9	答え 1 シルクロード（絹の道）	古代、中国（漢や唐の時代）と中央アジア、西アジアを結んだ陸上の交易路は「シルクロード（絹の道）」と呼ばれます。奈良時代の日本は遣唐使を通じて唐の文化を積極的に取り入れました。当時の唐は国際色が非常に強く、シルクロードを通じてもたらされた西方の楽器や装飾技術が日本にも伝来しました。その宝物が今も正倉院に保管されており、日本はシルクロードの東の終着点とも称されます。
問10	答え 1 亀の甲羅や動物の骨に刻まれており、占いの内容が記録されている資料	殷墟は殷王朝後期の都の跡であり、ここから発見された甲骨によって、伝説上の存在に近かった殷が実在したことが裏付けられました。甲骨には、農作物の豊凶、戦争の成否、天候、王の健康状態などの占いの結果が刻まれており、当時の社会状況を詳しく知ることができる一級の史料となっています。
問11	答え 1 打製石器 → 青銅器 → 埴輪 → 和同開珎	日本の歴史において、まず旧石器時代に石を打ち欠いて作った打製石器が使われました。次に、弥生時代になると大陸から稲作とともに青銅器などの金属器が伝わりました。その後、古墳時代には古墳の周囲に並べるための埴輪が作られるようになり、奈良時代に入ると律令国家の形成に伴い、唐の貨幣にならった和同開珎が鑄造されました。この変遷は、生産技術の向上や国家体制の整備の過程を反映しています。
問12	答え 1 太陽の動きを基準とし、1年を365日とする太陽暦	エジプト文明は「ナイルのたまもの」と呼ばれるほど、川のはんらんがもたらす肥沃な土壌に依存していました。はんらんの周期を予測することは、農作業の計画を立てる上で国家の死活問題であったため、天文学が高度に発達し、太陽に基づいた暦が誕生しました。なお、太陰暦や60進法、楔形文字はメソポタミア文明の主要な特徴です。
問13	答え 1 中国から西方へ絹織物が運ばれる一方で、西方からはぶどうなどの産物や仏教が伝わり、内陸のオアシス都市が中継地として栄えた。	シルクロードは単なる物資の輸送路ではなく、宗教や技術、文化が混ざり合う重要な役割を果たしました。中国側からは高品質な絹織物が輸出され、西方（中央アジアや西アジア）からはぶどうなどの植物や、インド起源の仏教が中国へと伝来しました。この交易を支えたのが砂漠点-inするオアシス都市であり、敦煌はその代表的な拠点の一つとして仏教美術などの文化が花開きました。

人類の出現と文明ブリン

名前

- 問1 古代エジプトにおいて、天体観測が発達し「太陽暦」が作られた背景として、ナイル川の自然環境と農業の関係から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 茨城公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. ナイル川が定期的に氾濫する時期を予測し、農作業の計画を立てる必要があったため | 2. ナイル川の急激な水量の減少を予測し、砂漠化を防ぐための灌漑施設を稼働させるため | 3. ナイル川の交易路が地中海とつながる時期を特定し、麦の輸出額を増やすため | 4. ナイル川の上流にあるピラミッド建設現場へ、石材を運ぶための増水期を知るため |
|---|--|--|--|
- 問2 紀元前2500年頃からインド北西部の河川流域で栄え、モヘンジョ・ダロに代表されるような、道路が碁盤の目のように整備され上下水道を備えた計画的な都市を築いた文明を何といいますか。 (2024年 滋賀公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-------------|-----------|---------|
| 1. エジプト文明 | 2. メソポタミア文明 | 3. インダス文明 | 4. 中国文明 |
|-----------|-------------|-----------|---------|
- 問3 中国の遺跡から出土した、白く平らな骨の表面に、直線で構成された細かな記号が多数刻まれている資料があります。この資料が作成された背景や特徴について述べた文として、正しいものはどれか次の中から選びなさい。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|---|--------------------------------------|
| 1. 殷の王が国を治める際、神の意思を問う占いの内容を記録するために刻んだ。 | 2. 周の時代に、役人が広大な領土を管理するための法律を粘土板に刻んだ。 | 3. 秦の始皇帝が、全国で異なる文字が使われないよう、竹簡に統一した文字を記した。 | 4. 漢の時代に、シルクロードを通じて伝わった西方文明の文字を模写した。 |
|--|--------------------------------------|---|--------------------------------------|
- 問4 西暦1世紀、日本では倭の奴国の王が中国の漢（後漢）から金印を授かったとされる時期において、地中海を囲む広大な領土を支配していたローマ帝国の様子として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2022年 佐賀公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 広大な領土を統治するために、軍隊の移動を支える道路網や、都市生活に不可欠な水道などの公共施設が整備された。 | 2. メソポタミアにおいて、粘土板に商取引の記録を残すための楔形文字が発明され、高度な文明が築かれた。 | 3. アテネなどのポリス（都市国家）を中心に、市民が政治に参加する民主政治が最も盛んに行われた。 | 4. 古代ギリシャ・ローマの文化を復興させようとするルネサンスの動きが広まり、レオナルド・ダ・ヴィンチらが活躍した。 |
|--|---|--|--|
- 問5 紀元前1600年ごろ、黄河流域で栄えた「殷（商）」において、王が神意を問う占いなどを行う際に、亀の甲羅や動物の骨に刻んで使用した文字を何というか答えなさい。 (2017年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 楔形文字 | 2. 甲骨文字 | 3. 象形文字 | 4. ヒエログリフ |
|---------|---------|---------|-----------|
- 問6 紀元前5世紀頃のアテネなど、古代ギリシャの都市国家で見られた政治の仕組みについて、その特徴を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 労働を奴隷に依存する社会構造のもと、市民が直接話し合いに参加する政治が行われていた。 | 2. 河川の治水を目的とした強力な王権のもとで、官僚による中央集権的な政治が行われていた。 | 3. カースト制度と呼ばれる厳しい身分制度があり、特定の身分のみが政治を独占していた。 | 4. 広大な領土を統治するために、各地に知事を派遣して徴税を行う仕組みが整えられていた |
|---|---|---|---|
- 問7 南アメリカ大陸の歴史的背景について述べた次の説明のうち、16世紀以降のスペインによる植民地支配の影響を正しく示しているものはどれですか。 (2023年 山形公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. インカ帝国などの先住民の国家が滅ぼされ、ヨーロッパ流の都市や制度が造られた | 2. ブラジルを中心にポルトガル語が広まり、東回りの航路で伝わった文化が融合した | 3. 北アメリカと同様に、主にイギリスからの移住者が農業を基盤とした植民地を築いた | 4. 仏教やイスラム教がアジアから持ち込まれ、現地の伝統的な信仰と結びついた |
|--|--|---|--|
- 問8 日本列島における、生活用具の出現や技術の発展について、古いものから順に正しく並べた組み合わせを選びなさい。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 1. 打製石器 → 縄文土器 → 磨製石包丁 → 須恵器 | 2. 打製石器 → 磨製石包丁 → 縄文土器 → 須恵器 | 3. 縄文土器 → 打製石器 → 須恵器 → 磨製石包丁 | 4. 磨製石包丁 → 縄文土器 → 打製石器 → 須恵器 |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
- 問9 古代から中世にかけて、敦煌（とんこう）などのオアシス都市を経由してアジアとヨーロッパを結んだ「シルクロード（絹の道）」と呼ばれる交易路について、この道を通じて中国から西方へ運ばれたものと、西方から中国へもたらされたものの組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 京都公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1. 中国からは絹織物が、西方からはぶどうが伝えられた。 | 2. 中国からは綿織物が、西方からはぶどうが伝えられた。 | 3. 中国からは絹織物が、西方からは紙が伝えられた。 | 4. 中国からは綿織物が、西方からは紙が伝えられた。 |
|------------------------------|------------------------------|----------------------------|----------------------------|
- 問10 15世紀末のヨーロッパで作られた地球儀には描かれていなかった南アメリカ大陸で、独自の発展を遂げたインカ帝国の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 大阪公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. アンデス山脈の厳しい自然環境に適応するため、高地の斜面に段々畑を造り、高度な石造技術を用いた都市を建設した。 | 2. メキシコ高原を中心に、巨大なピラミッド型神殿を持つテノチティランを首都として栄えたが、スペイン人に滅ぼされた。 | 3. ユカタン半島を中心に、高度な天文学や数学を発達させ、独自の象形文字や精密な暦を使用する都市国家を形成した。 | 4. 大西洋と地中海を結ぶ交易の中継地として、鉄製の武器や馬車を用いることで広大な領土を支配する中央集権国家を築いた。 |
|---|--|--|---|
- 問11 南アメリカ大陸の西側に位置するアンデス山脈沿いの地域において、15世紀から16世紀にかけて繁栄した先住民の国家について述べたものとして正しい名称を選びなさい。この国家は、マチュピチュに代表される精巧な石造建築技術を持っていたことで知られています。 (2022年 三重公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|----------|-----------|
| 1. インカ帝国 | 2. モンゴル帝国 | 3. ムガル帝国 | 4. オスマン帝国 |
|----------|-----------|----------|-----------|
- 問12 7世紀の世界のできごとを記した年表において、ムハンマドという人物がアラビア半島でおこしたとされる宗教について、その教義と聖典の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 沖縄公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|---|----------------------------------|
| 1. 唯一神アッラーを信仰し、信者同士の助け合いなどの正しい行いを説き、『コーラン』を聖典とする。 | 2. 救世主としてのイエスを信じ、隣人愛を説き、『新約聖書』を聖典とする。 | 3. 悟りを開くことで苦しみから解放されると説き、多くの『経典』を聖典とする。 | 4. 万物に神が宿ると考え、自然を崇拜し、特定の聖典を持たない。 |
|---|---------------------------------------|---|----------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ナイル川が定期的に氾濫する時期を予測し、農作業の計画を立てる必要があったため	古代エジプトでは、ナイル川が毎年ほぼ決まった時期に氾濫し、周囲に肥沃な土壌を残していく性質を利用して農業が行われました。この氾濫の時期を正確に知ることは、種まきなどの農作業の予定を立てる上で不可欠だったため、天体観測に基づいた太陽暦が発達しました。ピラミッドは王の墓であり、建設と暦の関係はこの選択肢の文脈には当てはまりません。
問2	答え 3 インダス文明	インダス川流域で発達したこの文明は、高度な都市計画に基づいた都市遺跡が特徴です。レンガ造りの建物や排水溝などが整えられており、当時の高い測量技術や土木技術の存在がうかがえます。
問3	答え 1 殷の王が国を治める際、神の意思を問う占いの内容を記録するために刻んだ。	殷の時代は神権政治が行われており、戦争や祭祀、農作物の収穫などの重要な事柄はすべて占いによって決められていました。出土した骨に刻まれている直線的な記号は、占いという宗教的な行為を記録するための甲骨文字であり、当時の王権が宗教的な権威に基づいていたことを裏付ける貴重な史料となっています。
問4	答え 1 広大な領土を統治するために、軍隊の移動を支える道路網や、都市生活に不可欠な水道などの公共施設が整備された。	西暦1世紀頃のローマ帝国は「パクス・ロマーナ（ローマの平和）」と呼ばれる最盛期にありました。広大な帝国全域に張り巡らされた「ローマの道」は軍隊の迅速な派遣を可能にし、都市部では高度な土木技術を用いて水道橋などの公共インフラが建設されました。メソポタミアの楔形文字やギリシャの民主政治は紀元前の出来事であり、ルネサンスは14世紀以降の出来事であるため、時期が一致しません。
問5	答え 2 甲骨文字	殷の時代、王は国政の重要な決定を下す際に、骨や甲羅を焼いて生じたひび割れで吉凶を占っていました。その占いの内容や結果を刻んだものが甲骨文字です。これは単なる記号ではなく、意味を持った文字として体系化されており、現在の漢字の起源になったとされています。
問6	答え 1 労働を奴隷に依存する社会構造のもと、市民が直接話し合いに参加する政治が行われていた。	古代ギリシャの都市国家（ポリス）であるアテネでは、成人男性市民が民会に出席して直接政策を決定する直接民主政治が行われました。この市民による政治参加を支えていたのは、生産労働に従事していた奴隷の存在です。この仕組みは現代の民主政治の起源とされています。
問7	答え 1 インカ帝国などの先住民の国家が滅ぼされ、ヨーロッパ流の都市や制度が造られた	スペインから派遣された征服者（コンキスタドール）たちは、現在のペルー周辺に栄えていたインカ帝国などを滅ぼし、その地に植民地を建設しました。この過程で先住民の社会構造は破壊され、スペイン式の統治制度やキリスト教が導入されることになりました。なお、南アメリカでポルトガルの支配を受けたのは主に現在のブラジルにあたる地域です。
問8	答え 1 打製石器 → 縄文土器 → 磨製石包丁 → 須恵器	日本列島の歴史において、まず旧石器時代に石を打ち欠いて作った打製石器が使われました。その後、縄文時代になると煮炊き用の縄文土器が登場し、弥生時代には本格的な稲作の普及に伴って稲の穂を摘み取るための磨製石包丁が普及しました。古墳時代には、朝鮮半島から伝わった技術により、高温の窯で焼かれた灰色で硬質の須恵器が作られるようになりました。
問9	答え 1 中国からは絹織物が、西方からはぶどうが伝えられた。	中国の特産品であった絹織物は、西方で非常に高く評価され、この交易路の名称の由来にもなりました。一方、西方からはぶどうやスイカなどの農作物のほか、馬や宝石、そしてインドからの仏教などが中国へもたらされました。綿織物は主にインドから伝わったものであり、紙は中国で発明されたものですが、この時期に西方から中国へもたらされた主要な産物ではありません。
問10	答え 1 アンデス山脈の厳しい自然環境に適応するため、高地の斜面に段々畑を造り、高度な石造技術を用いた都市を建設した。	インカ帝国は標高の高いアンデス山脈に位置していたため、限られた土地を有効に活用する段々畑の技術や、地震にも耐えるほど精巧な石造建築が特徴です。メキシコ高原で栄えたのはアステカ文明、ユカタン半島で栄えたのはマヤ文明であり、地理的条件や文明の特色によって明確に区別されます。
問11	答え 1 インカ帝国	南アメリカのアンデス山脈の高地に築かれたこの文明は、文字を持たない代わりに「キープ（結縄）」という紐の結び目で数字などを記録していました。車輪や鉄器、大型の家畜を持たなかったにもかかわらず、巨大な石を精密に組み上げる高度な建築技術や、広大な領土を結ぶ道路網を整備していたことが特徴です。
問12	答え 1 唯一神アッラーを信仰し、信者同士の助け合いなどの正しい行いを説き、『コーラン』を聖典とする。	イスラム教は7世紀にムハンマドによって創始されました。唯一神アッラーを信じる一神教であり、その教えは聖典『コーラン』にまとめられています。教義の中では、信仰だけでなく、信者同士の連帯や助け合いといった社会的な実践（善行）も強く推奨されているのが特徴です。

人類の出現と文明プリン ト

名前

- 問1 アフリカ大陸の地図を確認すると、経線と緯線を利用した直線的な国境線が多く見られます。このような国境線が画定された歴史的背景と、その後の影響について述べた文として最も適切なものを選びなさい。 (2021年 奈良公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. ヨーロッパ諸国による植民地支配の際、現地の民族分布を無視して一方的に境界線が引かれたため、独立後も紛争の原因となった。 | 2. 民族自決の原則に基づき、アフリカの各民族が話し合いを通じて、公平に資源を分配できるよう直線の境界線を定めた。 | 3. 広大な砂漠や熱帯雨林において、山脈や河川などの自然の地形を正確に境界線として利用した結果、直線的な国境となった。 | 4. 第二次世界大戦後に独立を達成した際、レアメタルの産出地域を周辺国で共有するために、国際連合が新たに引き直した。 |
|--|---|---|--|
- 問2 8世紀に鑑真が日本へ渡ってきた当時の、中国の王朝と日本との関係について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 日本から遣唐使が派遣され、その王朝の律令制度や仏教文化が日本の国づくりに大きな影響を与えた。 | 2. 足利義満がこの王朝の皇帝から「日本国王」に封じられ、勘合を用いた貿易が行われていた。 | 3. 白村江の戦いにおいて日本・百済の連合軍と戦い、勝利した後に日本への圧力を強めていた元という王朝である。 | 4. 日本に対して朝貢を求め、従わない場合は武力で侵攻するという強い態度を示していた明という王朝である。 |
|---|---|--|--|
- 問3 1949年、相沢忠洋によって関東地方の赤土の層（関東ローム層）から石器が発見されたことで、日本列島にも土器出現以前の文化が存在したことが初めて証明されました。この発見の舞台となった群馬県の遺跡の名前として適切なものを選びなさい。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------|-----------|---------|
| 1. 岩宿遺跡 | 2. 三内丸山遺跡 | 3. 吉野ヶ里遺跡 | 4. 登呂遺跡 |
|---------|-----------|-----------|---------|
- 問4 古代ギリシャのポリスにおいて、市民が政治に参加できた主な理由として、軍事面での役割の変化が挙げられます。当時の市民はどのような姿で戦いに参加することで、政治的発言力を高めましたか。 (2025年 山口公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------|------------------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 重装歩兵として密集陣形を組んで戦った | 2. 騎士として馬に乗り、個人の武勇を競った | 3. 戦車を操り、遠距離から弓矢で攻撃した | 4. 傭兵として雇われ、職業軍人として戦った |
|-----------------------|------------------------|-----------------------|------------------------|
- 問5 中世ヨーロッパにおいて、十字軍の遠征が行われたことがその後の社会に与えた背景や影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 山梨公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 遠征を通じてイスラム世界の進んだ文化や学問が流入し、ルネサンスの遠因となった | 2. 遠征に成功したことでローマ教皇の権威が絶対的なものとなり、宗教改革を未然に防いだ | 3. 遠征軍がアジアから持ち帰った茶の栽培が広まり、ヨーロッパの農業構造が変化した | 4. イスラム勢力が完全に消滅したため、キリスト教諸国によるアメリカ大陸の植民地化が始まった |
|---|---|---|--|
- 問6 紀元前1600年ごろの中国・殷王朝において、政治の指針を決める占いの結果などを記録するために用いられた文字は何と呼ばれますか。亀の甲羅や動物の骨に刻まれ、現在の漢字の原型となったものを次のの中から選びなさい。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|-----------|------------|
| 1. 甲骨文字 | 2. 楔形文字 | 3. ヒエログリフ | 4. フェニキア文字 |
|---------|---------|-----------|------------|
- 問7 古代ローマ帝国では、イエスの教えを信じる人々を当初は迫害していましたが、のちに帝国を統治するうえで民衆の団結を強めるためにキリスト教を公認し、4世紀末には特定の宗教のみを国の宗教として定めました。このように、国家が法律によって特定の宗教を公に認めたものを何といいますか。 (2020年 島根公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|-------|-------|
| 1. 国教 | 2. 民主政治 | 3. 儒教 | 4. 仏教 |
|-------|---------|-------|-------|
- 問8 西アジアのチグリス川とユーフラテス川という2つの大河の流域で栄えた古代文明について、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2017年 三重公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1. ナイル川の氾濫を予測するために太陽暦が作られ、象形文字が使用された。 | 2. インダス川流域で、下水道などの設備を整えた計画的な都市が建設された。 | 3. チグリス・ユーフラテス両河の流域で、粘土板に刻まれるくさび形文字が発達した。 | 4. 黄河流域で青銅器が作られ、亀の甲羅などに刻まれる甲骨文字が使われた。 |
|---------------------------------------|---------------------------------------|---|---------------------------------------|
- 問9 オーストラリアの都市であるメルボルンにおいて、ヨーロッパ諸国の都市に見られるような重厚な石造りの建築物や教会が立ち並ぶ景観が形成された歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 奈良公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. イギリスによる植民地支配を受け、支配国の文化や建築様式が強く反映されたため | 2. アメリカ合衆国の統治下で、キリスト教の布教とともに西洋的な都市開発が進められたため | 3. オランダがインド洋貿易の拠点として開発し、自国の港町を模した景観を作り上げたため | 4. 金鉱の発見以降、多国籍な移民がそれぞれの国の様式を持ち寄って折衷的な街作りを行ったため |
|--|--|---|--|
- 問10 紀元前2500年ごろからインダス川流域で栄えた古代文明では、石で作られた四角い印章に動物の図像とともに独自の文字が刻まれていました。この文字に関する説明として、他の文明の文字と比較した際の特徴を次のの中から選びなさい。 (2025年 愛知公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|-------------------------------------|--|
| 1. エジプトの象形文字やメソポタミアのくさび形文字とは異なり、現在も解読されていない。 | 2. 亀の甲羅や動物の骨に刻まれた文字であり、現在の漢字の原型となった。 | 3. フェニキア人によって考案され、後のアルファベットの起源となった。 | 4. 粘土板に刻まれることで記録が残り、現在ではその内容の多くが解明されている。 |
|--|--------------------------------------|-------------------------------------|--|
- 問11 古代文明の一つであるエジプト文明において、天文学や数学などの科学技術が高度に発達した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 沖縄公立入試 類似)
- | | | | |
|---|-------------------------------------|---|--|
| 1. ナイル川の氾濫時期を予測し、洪水後の土地を正確に測り直す必要があったため | 2. 甲骨文字を用いて亀の甲羅で占うことで、政治的な意思決定を行うため | 3. ハムラビ法典のような厳しい法律を運用するために、文字の記録を重視したため | 4. 都市国家アテネとの交易を円滑にするため、共通の度量衡を確立する必要があったため |
|---|-------------------------------------|---|--|
- 問12 南アメリカ大陸の西側に位置するアンデス山脈沿いの地域において、15世紀から16世紀にかけて繁栄した先住民の国家について述べたものとして正しい名称を選びなさい。この国家は、マチュピチュに代表される精巧な石造建築技術を持っていたことで知られています。 (2022年 三重公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|----------|-----------|
| 1. インカ帝国 | 2. モンゴル帝国 | 3. ムガル帝国 | 4. オスマン帝国 |
|----------|-----------|----------|-----------|
- 問13 中国の漢の時代に整備された、中国と西アジアや地中海沿岸地域を結ぶ交通路を何と呼びますか。 (2024年 徳島公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|---------|--------|
| 1. シルクロード | 2. 万里の長城 | 3. 海の手道 | 4. 御成道 |
|-----------|----------|---------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ヨーロッパ諸国による植民地支配の際、現地の民族分布を無視して一方的に境界線が引かれたため、独立後も紛争の原因となった。	19世紀後半、ヨーロッパ諸国はベルリン会議などを通じて、アフリカを分割し植民地化しました。その際、現地に住む人々の言語、文化、民族の居住範囲といった実態を考慮せず、宗主国の利害関係を優先して経緯線などで機械的に境界線を引きました。この「人為的境界」は、一つの民族を分断したり、歴史的に対立していた民族を同じ国の中に閉じ込めたりすることにつながり、独立後の国境紛争や内戦、さらにはレアメタルなどの資源をめぐる対立が激化する大きな要因となりました。
問2	答え 1 日本から遣唐使が派遣され、その王朝の律令制度や仏教文化が日本の国づくりに大きな影響を与えた。	鑑真が来日したのは8世紀の唐の時代です。当時の日本は奈良時代にあたり、唐の優れた政治制度（律令制）や文化を学ぶために遣唐使を派遣していました。鑑真は、日本の仏教に正しい戒律を伝えるために招かれた高僧です。勘合貿易は15世紀の明との関係、白村江の戦いは7世紀の出来事、元は13世紀の王朝であり、時期や背景が異なります。
問3	答え 1 岩宿遺跡	群馬県の岩宿遺跡での発見は、日本の歴史学において画期的な出来事でした。それまでは、火山の噴火による火山灰が堆積した関東ローム層からは人類の痕跡は見つからないと考えられていましたが、相沢忠洋がこの地層から打製石器を発見したことで、日本にも氷河時代に人類が生活していた「旧石器時代」があったことが確定しました。
問4	答え 1 重装歩兵として密集陣形を組んで戦った	商工業の発展により武器を自費で用意できるようになった平民たちは、「重装歩兵」としてボリスの防衛を担うようになりました。彼らが密集陣形（ファランクス）を組んで戦いの主力となったことで、国防に貢献しているという自負が生まれ、それが参政権を要求する背景となりました。このプロセスが、王政から民主政へと移行する大きな要因となりました。
問5	答え 1 遠征を通じてイスラム世界の進んだ文化や学問が流入し、ルネサンスの遠因となった	十字軍の遠征は軍事的には失敗に終わりましたが、東方との交流が活発化したことで、当時のヨーロッパよりも進んでいたイスラム世界の医学、天文学、古代ギリシャの文献などが流入しました。これが後の人間中心の文化運動であるルネサンスにつながる重要な背景となりました。
問6	答え 1 甲骨文字	古代中国の殷では、王が亀の甲羅や牛の肩甲骨に熱を加えてひび割れを作り、その形を見て神の意思を占っていました。その占いの内容や結果を骨に刻んで記録したものが甲骨文字です。これは物の形をかたどった象形文字であり、長い年月をかけて形が整えられ、現在の漢字へと発展しました。
問7	答え 1 国教	ローマ帝国は広大な領土と多様な民族を支配するために、当初は皇帝を神として崇拜することを強要し、それを拒むキリスト教徒を弾圧しました。しかし、社会不安が増大する中でキリスト教が急速に広まったため、帝国を維持・統合する手段としてこれを利用する方針に転換しました。その結果、テオドシウス帝の時代にキリスト教以外の宗教を禁止し、国の宗教としての地位を確立させました。
問8	答え 3 チグリス・ユーフラテス両河の流域で、粘土板に刻まれるくさび形文字が発達した。	メソポタミア文明は、現在のイラク周辺を流れるチグリス川とユーフラテス川の間に広がる地域で発展しました。この地域では農耕や商業が盛んに行われ、その記録を残すために粘土板にくさびのような形の文字を刻む「くさび形文字」が発明されました。また、天文学や数学も高度に発達し、農作業や儀式的目安となる暦が整備されました。
問9	答え 1 イギリスによる植民地支配を受け、支配国の文化や建築様式が強く反映されたため	18世紀後半から始まったイギリスによるオーストラリアの植民地支配により、都市計画や建築においてもヨーロッパ様式が導入されました。メルボルンの石造りの建築や教会の存在は、当時の支配国であったイギリスの影響を色濃く示しており、植民地時代の歴史的背景を物語っています。
問10	答え 1 エジプトの象形文字やメソポタミアのくさび形文字とは異なり、現在も解読されていない。	インダス川流域で栄えたインダス文明では、独自のインダス文字が使用されていました。この文字は印章などに刻まれて発見されていますが、ロゼッタ・ストーンのような解読の鍵となる資料が見つかっていないため、現在も解読には至っていません。これに対し、メソポタミア文明のくさび形文字や中国の甲骨文字（漢字の原型）などは解読が進んでいます。
問11	答え 1 ナイル川の氾濫時期を予測し、洪水後の土地を正確に測り直す必要があったため	「エジプトはナイルのたまもの」という言葉がある通り、エジプトの生活はナイル川の恩恵を受けていました。毎年の増水時期を知るために天文学が発達して太陽暦が作られ、また、洪水によって境界が不明になった土地を再区画するために測量技術や幾何学（数学）が発達しました。
問12	答え 1 インカ帝国	南アメリカのアンデス山脈の高地に築かれたこの文明は、文字を持たない代わりに「キープ（結縄）」という紐の結び目で数字などを記録していました。車輪や鉄器、大型の家畜を持たなかったにもかかわらず、巨大な石を精密に組み上げる高度な建築技術や、広大な領土を結ぶ道路網を整備していたことが特徴です。
問13	答え 1 シルクロード	漢の武帝の時代に派遣された張騫の遠征などをきっかけとして、中国の特産品である絹が西方へ運ばれたことから「絹の道」とも呼ばれます。この道を通じて、西方の文化や宗教が中国へ、そして日本へと伝わるきっかけとなりました。

人類の出現と文明ブリン

名前

問1 7世紀にアラビア半島のムハンマドが、唯一の神であるアッラーからの啓示を受けたとして開いた、神への絶対的な服従を説く宗教は何か、次の中から選びなさい。 (2025年 千葉公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|----------|-------|-------|
| 1. イスラム教 | 2. キリスト教 | 3. 仏教 | 4. 儒教 |
|----------|----------|-------|-------|

問2 古代ギリシャの都市国家（ポリス）について、代表的な都市の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 和歌山公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------|-------------|----------|--------------|
| 1. アテネ・スパルタ | 2. ローマ・カルタゴ | 3. 長安・洛陽 | 4. メンフィス・テーベ |
|-------------|-------------|----------|--------------|

問3 メソポタミア文明において、太陰暦や楔形文字といった文化が発達した地理的な背景として、適切な説明はどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. チグリス川とユーフラテス川という二つの大河の恵みにより農業が発達し、収穫物の管理や記録の必要性が生じたため。 | 2. ナイル川が毎年決まった時期に氾濫するため、その時期を正確に把握するための測量術や暦が必要となったため。 | 3. インダス川流域のような計画的な都市構造を持たなかったため、個別の住宅で排水を管理する必要があったため。 | 4. 広大な黄河流域において、天の意思を占うための記録媒体として粘土が最も入手しやすかったため。 |
|---|--|--|--|

問4 1492年に製作された現存する世界最古の地球儀には、当時のヨーロッパ人が存在を知らなかった南北アメリカ大陸が描かれていません。この大陸の南部に位置するアンデス山脈を中心に、16世紀前半にスペイン人に滅ぼされるまで独自の石造建築文化を築いた帝国を何といいますか。 (2026年 大阪公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|-----------|---------|-----------|
| 1. インカ帝国 | 2. アステカ文明 | 3. マヤ文明 | 4. インダス文明 |
|----------|-----------|---------|-----------|

問5 黄河や長江の流域で発展した古代の中国文明に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 山形公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|--|
| 1. 亀の甲羅や動物の骨に文字を刻む甲骨文字が使われ、現在の漢字の原型となった。 | 2. 粘土板に楔形文字を刻み、天文学や六十進法などの高度な技術が発達した。 | 3. パピルスという紙に神聖文字（ヒエログリフ）が書かれ、太陽暦が用いられた。 | 4. 印章などに刻まれたインダス文字が使用され、レンガ造りの計画的な都市が築かれた。 |
|--|---------------------------------------|---|--|

問6 中国の黄河流域で発見された、亀の甲羅や牛の骨に複雑な形状の文字が刻まれた資料について、この文字を使用していた王朝とその背景の説明として最も適切なものはどれですか。 (2020年 三重公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|---|
| 1. 殷の時代に、王が政治の重要事項を占った結果などを記録するために使用された。 | 2. 秦の時代に、始皇帝が文字を統一して全国で公式に使用するために定めた。 | 3. 漢の時代に、儒教の教えを広く民衆に伝えるための石碑に刻むために作られた。 | 4. 隋の時代に、科挙の試験を正確に実施するために標準化された書体として広まった。 |
|--|---------------------------------------|---|---|

問7 古代中国の王朝である殷（商）において、政治のあり方と文字の成り立ちについて述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 岐阜公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 亀の甲羅や牛の骨に占いの結果を刻む甲骨文字が使われ、それが漢字の原形となった。 | 2. 木簡や竹簡に墨で文字を書く技術が広まり、律令に基づいた法治国家の基礎が築かれた。 | 3. パピルスに記録された象形文字を用いて、ナイル川の氾濫を予測する天文学が発達した。 | 4. 粘土板に刻まれた楔形文字を用いて、目には目を、歯には歯をで知られる法典が記された。 |
|--|---|---|--|

問8 18世紀後半から20世紀前半にかけてオーストラリアを統治し、メルボルンの街並みに見られるような石造りの建築物やキリスト教の教会といった、ヨーロッパの都市に見られるような景観を形成する要因となった国はどこですか。 (2026年 奈良公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|------------|---------|----------|
| 1. イギリス | 2. アメリカ合衆国 | 3. オランダ | 4. ポルトガル |
|---------|------------|---------|----------|

問9 ローマ教皇を頂点とするキリスト教の宗派で、中世ヨーロッパにおいて、教会の組織を通じて政治や人々の生活など、社会のあらゆる面に多大な影響力を及ぼした組織を何といいますか。 (2021年 徳島公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|------------|--------|-------|
| 1. カトリック | 2. プロテスタント | 3. 正教会 | 4. 仏教 |
|----------|------------|--------|-------|

問10 アフリカ州の多くの国で見られる、緯線や経線に沿った「直線的な国境線」について、その特徴を説明した記述として正しいものを次の中から選びなさい。 (2021年 奈良公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 植民地時代の支配国が、現地の合意を得ることなく地図上で便宜的に引いた境界線に基づいている。 | 2. 自然国境と呼ばれ、大規模な農地開発を行うために地形に合わせて人工的に整えられたものである。 | 3. アフリカ諸国が独立する際、民族紛争を避けるために伝統的な居住区を尊重して引いた線である。 | 4. レアメタルなどの地下資源が地層に沿って直線状に埋蔵されているため、その分布に合わせて引かれた。 |
|--|--|---|--|

問11 日本の弥生時代の様子を伝える中国の歴史書には、日本に多くの小国があったことが記されています。この時期に中国から西アジア、さらには地中海地域へと広がり、東西の文化交流を支えた交通路について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 徳島公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 中国と西欧諸国を結び、絹や西方からの工芸品などが取引される東西交流の重要なルートとなった | 2. 北方からの遊牧民族の侵入を防ぐために築かれた軍事的な防壁であり、交易には使用されなかった | 3. 日本と東南アジアを直接結ぶ唯一の海上交易路として、弥生土器の輸出を支えた | 4. 江戸時代に整備された五街道のひとつであり、内陸の物資輸送の拠点となった |
|---|---|---|--|

問12 西アジアを流れるチグリス川とユーフラテス川の流域で栄えたメソポタミア文明において、粘土で作られた板に、尖った棒のようなもので刻み込まれた文字を何といいますか。 (2024年 佐賀公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|-----------------|---------|------------|
| 1. くさび形文字 | 2. 象形文字（ヒエログリフ） | 3. 甲骨文字 | 4. フェニキア文字 |
|-----------|-----------------|---------|------------|

問13 インド北西部の遺跡から、建物や水路が計画的に配置された都市の跡が発見されている文明について、その文化的な特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2024年 滋賀公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 象牙や石で作られた印章に文字が刻まれているが、現在も解読されていない。 | 2. ナイル川の氾濫を予測するために太陽暦が作られ、象形文字が使用された。 | 3. くさび形文字を粘土板に刻み、太陰暦や六十進法が考案された。 | 4. 亀の甲羅や動物の骨に、漢字の原型となる甲骨文字が刻まれた。 |
|--|---------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 イスラム教	ムハンマドがメッカで開いたこの宗教は、唯一神アッラーを信仰し、その教えは聖典「コーラン」にまとめられています。ムスリムと呼ばれる信者は、礼拝や断食など、生活全般において神への服従を実践することを重んじます。
問2	答え 1 アテネ・スパルタ	古代ギリシャには数百のポリスが存在していましたが、その中でも民主政を発達させたアテネと、強力な軍事教育で知られたスパルタは、ギリシャ世界を代表する二大ポリスとして歴史上重要な役割を果たしました。
問3	答え 1 チグリス川とユーフラテス川という二つの大河の恵みにより農業が発達し、収穫物の管理や記録の必要性が生じたため。	農業の発達により集団生活が大規模化すると、神殿での貢納品の管理や商業取引の記録が必要になりました。そこで身近にあった粘土を利用して楔形文字が刻まれ、農業に不可欠な時期の把握のために暦が発達しました。ナイル川の氾濫はエジプト文明、計画的な都市構造はインダス文明、占いによる記録は中国文明の文脈です。
問4	答え 1 インカ帝国	南アメリカ大陸のアンデス山脈沿いに広まったこの帝国は、文字を持たない代わりに「キープ」と呼ばれる紐の結び目で情報を記録し、マチュピチュのような高地都市や精巧な石造建築を発達させました。1492年の地球儀に描かれていないのは、コロンブスの到達以前でヨーロッパにその存在が知られていなかったためですが、16世紀にピサロ率いるスペイン人によって征服されました。
問5	答え 1 亀の甲羅や動物の骨に文字を刻む甲骨文字が使われ、現在の漢字の原型となった。	中国文明では、紀元前16世紀頃の殷（商）の時代に、占いの結果などを記録するために「甲骨文字」が使用されました。これがのちに私たちが使用している漢字のルーツとなりました。他の選択肢はそれぞれ、メソポタミア文明、エジプト文明、インダス文明の特徴を説明したものです。
問6	答え 1 殷の時代に、王が政治の重要事項を占った結果などを記録するために使用された。	殷の王は、祭祀や戦争、農作物の収穫などの重要事項を、亀の甲羅や牛の骨を焼いたときに入る「ひび」の形で占っていました。その占いの内容や結果を刻んだものが甲骨文字であり、当時の政治が宗教的な権威に基づいていたことを示しています。
問7	答え 1 亀の甲羅や牛の骨に占いの結果を刻む甲骨文字が使われ、それが漢字の原形となった。	殷の時代は、王が占いによって国政の重要事項を決定する神権政治が行われていました。その占いの道具として亀の甲羅や動物の骨が使われ、そこに刻まれた「甲骨文字」が現在の漢字のルーツとなりました。他の選択肢は、エジプト文明やメソポタミア文明、あるいは後の時代の中国の制度に関する説明です。
問8	答え 1 イギリス	オーストラリアは18世紀後半からイギリスの植民地となり、入植が進められました。その過程で、宗主国であるイギリスを中心としたヨーロッパの文化や建築技術が持ち込まれたため、現在もメルボルンなどの都市部には重厚な石造りの建物や教会が数多く残されています。
問9	答え 1 カトリック	中世ヨーロッパでは、ローマ教皇を首長とするカトリック教会が精神的な支えとしてだけでなく、政治的にも大きな権威を持っていました。これに対し、16世紀の宗教改革以降に誕生した宗派をプロテスタント、ビザンツ帝国を中心に発展した宗派を正教会と呼び、区別されます。
問10	答え 1 植民地時代の支配国が、現地の合意を得ることなく地図上で便宜的に引いた境界線に基づいている。	アフリカの国境線の多くは、かつての植民地支配時代にヨーロッパの列強諸国が引いた境界線をそのまま引き継いでいます。これを「数理的境界」とも呼びます。現地の民族分布や歴史的経緯を無視して一方的に境界が定められたため、本来は一つのまとまりであった民族が複数の国に分断されるといった事態を招きました。これが現代においても、特定の民族が住む地域に埋蔵されるレアメタルなどの資源争奪戦と結びつき、深刻な対立を引き起こす背景となっています。
問11	答え 1 中国と西欧諸国を結び、絹や西方からの工芸品などが取引される東西交流の重要なルートとなった	弥生時代の日本が中国の王朝と関係を持ち始めた頃、大陸では漢によって西アジアまで至る「シルクロード」が確立されていました。この道は単なる商業ルートではなく、仏教などの宗教や西方の文化が東方に伝わる文化の架け橋としての役割を果たしました。選択肢にある軍事的な防壁は万里の長城を指します。
問12	答え 1 くさび形文字	現在のイラク付近にあたるチグリス川・ユーフラテス川流域では、紀元前3000年ごろからメソポタミア文明が発展しました。この地域では河川から得られる粘土が豊富であったため、乾燥させる前の粘土板に、葦（あし）の茎などを押し当てて鋭い線を組み合わせた「くさび形文字」を刻んで記録を残しました。エジプト文明の象形文字や中国の甲骨文字と並び、古代文明を象徴する文字の一つです。
問13	答え 1 象牙や石で作られた印章に文字が刻まれているが、現在も解読されていない。	インダス文明では、独自のインダス文字が使用されていましたが、他の文明の文字との比較研究が進んでいないため、未だに解読されていません。選択肢にある他の特徴は、エジプト、メソポタミア、中国の各文明のものです。

人類の出現と文明ブリン

名前

問1 飛鳥時代から江戸幕府が成立する1603年までの日本の歩みを整理した時系列において、最も古い時期である7世紀初めのアジアおよび世界の動向を説明したものと、正しいものはどれですか。 (2021年 新潟県公立入試 類似)

1. アラビア半島でムハンマドがイスラム教を唱え、信者を増やしていった。
2. ルターが教会の免罪符販売を批判し、ヨーロッパで宗教改革が始まった。
3. マゼランの船団が世界周航を成し遂げ、地球が丸いことが証明された。
4. 秦の始皇帝が中国を統一し、北方の遊牧民族の侵入を防ぐために万里の長城を築いた。

問2 日本の古代文化において、遠く離れたギリシャ文化の影響が指摘されることがあります。法隆寺の建築様式や金堂壁画に見られる、ギリシャ文化とオリエント文化が融合した文化の影響について、その伝播の経緯を説明したものと適切なものを選んでください。 (2022年 岐阜公立入試 類似)

1. アレクサンドロス大王の遠征を契機に生まれた文化が、中央アジアの仏教美術に取り入れられ、シルクロードを経て日本へ伝わった。
2. 遣隋使や遣唐使が地中海沿岸まで直接渡航し、古代ギリシャの写実的な彫刻技法や絵画技法を直接日本に持ち帰った。
3. 十字軍の遠征によってヨーロッパに伝わったオリエントの技術が、大航海時代の宣教師によって飛鳥時代の日本へ紹介された。
4. 唐の時代に完成した水墨画の技法が、ギリシャの遠近法と偶然一致したことで、日本の寺院建築の装飾として採用された。

問3 7世紀のアラビア半島において、唯一の神アラーから啓示を受けたムハンマドによって創始された宗教は何か、名称を答えなさい。 (2026年 三重公立入試 類似)

1. イスラム教
2. キリスト教
3. ヒンドゥー教
4. 仏教

問4 1949年、群馬県において相沢忠洋が関東ローム層（火山灰の層）の中から打製石器を発見したことにより、それまでの日本列島の歴史認識が大きく覆されました。この発見によって、日本列島において初めて存在が証明された時代として正しいものはどれですか。 (2023年 京都公立入試 類似)

1. 旧石器時代
2. 縄文時代
3. 弥生時代
4. 古墳時代

問5 古代メソポタミアにおいて、粘土板に文字を刻んで情報を記録する仕組みが発達した背景として、当時の社会状況をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 奈良公立入試 類似)

1. 都市国家の運営において、収穫した農産物の量や交易の記録を正確に残す必要があったため
2. 巨大な墳墓の壁面に、王の死後の世界を描いた物語を装飾として残す必要があったため
3. 亀の甲羅や動物の骨を焼き、そのひび割れの形から国の吉凶を占う儀式を重視したため
4. 仏教の教えを周辺諸国に広めるため、持ち運びが可能な軽い素材に経典を記す必要があったため

問6 古代中国の殷王朝において、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた文字（甲骨文字）が使用されていた目的や背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 大阪公立入試 類似)

1. 農作物の収穫や戦争などの国家の重要事項を決定するために、神意を問う占いを行った結果を記録した。
2. メソポタミア文明から伝わった文字を改良し、王の権力を周辺諸国に誇示するための行政文書として用いた。
3. 秦の始皇帝が中国を統一した際、各地で異なっていた言語や度量衡を統一するための基準として作成した。
4. 青銅器の表面に鑄造することで、王朝の歴史や先祖への感謝を後世に伝えるための記念碑として使用した。

問7 奈良時代の日本に、西方のペルシアやインドなどの影響を受けた文化や工芸品がもたらされた背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2014年 沖縄公立入試 類似)

1. 遣唐使が派遣されたことで、当時の唐にシルクロードを通じて流入していた国際色豊かな文化や宝物が日本に持ち帰られた。
2. 倭の五王が中国の南朝へ使いを送ったことで、東南アジアの島々を経由する「海の道」の貿易が活発になり、工芸品が伝わった。
3. 勘合貿易の開始によって、明の文化が琉球王国を経由して平城京に運ばれ、正倉院のような建築物に収められるようになった。
4. 朝鮮半島での白村江の戦いに勝利した際、大陸から多くの技術者や文化人が日本に渡来し、西方の高度な工芸技術を伝えた。

問8 日本列島の旧石器時代における人々の生活環境や道具について述べた説明として、最も適切なものはどれか。 (2021年 和歌山公立入試 類似)

1. ナウマンゾウなどの大型の動物を追い、移動しながら生活していた。
2. 土器を使用して食物を煮るようになり、定住生活が始まった。
3. 大陸から稲作の技術が伝わり、大規模な環濠集落が形成された。
4. 表面を磨いて形を整えた磨製石器を使い、木を加工して家を建てた。

問9 18世紀半ばから19世紀末にかけてのロンドンでは、人口が約100万人から650万人近くへと垂直に近い角度で急増しました。これに伴い、テムズ川の水質悪化が深刻な社会問題となりましたが、この時期に汚染が急速に進んだ背景として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 島根公立入試 類似)

1. 急激な人口集中に対して下水道などのインフラ整備が追いつかず、家庭からの生活排水が直接河川に流れ込んだため。
2. 産業革命による工場建設が進んだことで、工場から排出される化学物質を含んだ排水が主な汚染源となったため。
3. 石炭の大量消費によって発生した硫酸酸化物が雨に溶け、強い酸性雨となって河川の生態系を破壊したため。
4. 世界的な気温上昇によってテムズ川の水量が減少し、もともと川に含まれていた有害物質の濃度が相対的に高まったため。

問10 西アジアで成立したイスラム教と、同時期の日本や東アジアの状況について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)

1. ムハンマドがイスラム教を開いた7世紀、東アジアでは唐が建国され、日本は大化の改新などを通じて律令国家への道を歩んでいた。
2. イスラム教が成立した時期、日本は卑弥呼が中国の魏に使いを送っており、邪馬台国が勢力を持っていた。
3. イスラム教が誕生したのと同じ世紀に、日本では平氏による武家政権が誕生し、日宋貿易が盛んに行われていた。
4. ムハンマドが宗教活動を始めた時代、日本では聖武天皇が東大寺に大仏を造り、全国に国分寺を建てていた。

問11 紀元前16世紀ごろの中国で成立した殷（いん）の遺跡からは、亀の甲羅や動物の骨に文字が刻まれた資料が数多く出土しています。この資料に刻まれた、現在の漢字の起源とされる文字を何といえますか。 (2015年 長崎県公立入試 類似)

1. 楔形文字
2. 甲骨文字
3. ヒエログリフ
4. 象形文字

問12 群馬県にある岩宿遺跡の発見は、日本史の研究において非常に重要な意味を持っています。この遺跡が発見されるきっかけとなった出来事と、それによって明らかになった当時の状況の説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 京都公立入試 類似)

1. 相沢忠洋が火山灰の地層から打製石器を発見し、更新世の日本列島に人が居住していたことが証明された。
2. 大規模な水田遺構が発見され、縄文時代から本格的な稲作が始まっていたことが証明された。
3. 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見され、当時の日本が中国の王朝と交流していたことが判明した。
4. 人物や動物をかたどった埴輪が大量に出土し、強力な権力を持つ王が存在していたことが判明した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 アラビア半島でムハンマドがイスラム教を唱え、信者を増やしていった。	小野妹子が隋へ派遣された7世紀初め、西アジアではイスラム教が成立し、急速に勢力を拡大していました。ルターによる宗教改革やマゼランの世界周航は16世紀（日本では室町時代末期から安土桃山時代）の出来事です。また、秦の始皇帝による中国統一は紀元前3世紀の出来事であり、7世紀の日本の状況とは時期が大きく異なります。
問2	答え 1 アレクサンドロス大王の遠征を契機に生まれた文化が、中央アジアの仏教美術に取り入れられ、シルクロードを経て日本へ伝わった。	ヘレニズム文化は、ギリシャ文化が東方へと広がる中で現地の文化と混ざり合い、ガンダーラ美術などの仏教美術に大きな影響を与えました。これが中国や朝鮮半島を経由し、仏教とともに日本へ伝わったため、法隆寺の金堂壁画や柱の彫り（エンタシス）などに、遠く離れたギリシャ文化との共通点が見られることになりました。これは当時の日本が国際的な文化交流のネットワークの終着点であったことを示しています。
問3	答え 1 イスラム教	ムハンマドは商業都市メッカで、唯一神アラーの啓示を受けたとしてこの宗教を始めました。聖典をコーランとし、信者の平等や一日に数回の礼拝など、生活全般にわたる厳しい教えを定めたことで、アラビア半島から急速に広まりました。
問4	答え 1 旧石器時代	それまでの日本では、土器を使用する縄文時代より前の時代には人々は住んでいないと考えられていました。しかし、群馬県の岩宿遺跡で相沢忠洋が打製石器を発見したことにより、土器を使用せず狩猟や採集を行っていた「旧石器時代」が日本にも存在したことが初めて学術的に証明されました。
問5	答え 1 都市国家の運営において、収穫した農産物の量や交易の記録を正確に残す必要があったため	大きな河川の流域で農業が発展し、多くの人々が暮らす都市国家が形成されるようになると、蓄えられた余剰産物の管理や、遠方との交易の内容を正確に記録・保存する必要が生じました。文字は、複雑化した社会の運営や徴税を円滑に行うための実用的な統治ツールとして発明されました。
問6	答え 1 農作物の収穫や戦争などの国家の重要事項を決定するために、神意を問う占いをを行った結果を記録した。	古代中国の殷王朝は、宗教的権威によって国を治める「祭政一致」の性格が強い国家でした。甲骨文字は、豊作の祈願、戦争の成否、天候の予測といった政治上の重大な決断を下すための「占い」の内容や結果を記録するために使われました。資料に見られる骨や甲羅の表面に刻まれた細い線のような跡は、神託を記録した当時の公文書としての役割を持っていました。
問7	答え 1 遣唐使が派遣されたことで、当時の唐にシルクロードを通じて流入していた国際色豊かな文化や宝物が日本に持ち帰られた。	奈良時代、日本は唐の進んだ律令制度や文化を学ぶために遣唐使を派遣しました。当時の唐の都である長安は、シルクロードを通じて世界各地から人や物が集まる国際都市でした。そこで育まれた国際的な文化（唐文化）が、遣唐使によって日本に直接もたらされたため、正倉院に代表されるような西方の香り漂う工芸品が日本に残ることとなりました。他の選択肢にある「倭の五王」は古墳時代、「勘合貿易」は室町時代、「白村江の戦い」は日本が敗北した出来事であり、時代背景や事実関係が異なります。
問8	答え 1 ナウマンゾウなどの大型の動物を追い、移動しながら生活していた。	旧石器時代は氷河時代とも重なり、日本列島が大陸と陸続きになる時期がありました。当時の人々は打製石器を用い、食料となるナウマンゾウやヘラジカなどの大型動物を追って移動を繰り返す生活を送っていました。土器の使用や定住生活が始まるのは、気候が温暖になった後の縄文時代からです。
問9	答え 1 急激な人口集中に対して下水道などのインフラ整備が追いつかず、家庭からの生活排水が直接河川に流れ込んだため。	産業革命期の大都市では、短期間に爆発的な人口増加が起こりました。当時の都市開発において、増え続ける住民が出す生活排水を処理する仕組みが十分に整っていなかったことが、テムズ川の深刻な水質汚濁を招く直接的な原因となりました。工場の排水も問題ではありましたが、この時期のロンドンにおける最大の汚染要因は未処理の生活排水でした。
問10	答え 1 ムハンマドがイスラム教を開いた7世紀、東アジアでは唐が建国され、日本は大化の改新などを通じて律令国家への道を歩んでいた。	イスラム教の成立は7世紀であり、この時期の東アジアでは中国で唐（618年～）が成立し、日本では大化の改新（645年）が行われるなど、中央集権的な国家体制の構築が進んでいました。卑弥呼は3世紀、武家政権の誕生は12世紀、聖武天皇の治世は8世紀の出来事であるため、これらはイスラム教の成立時期とは一致しません。
問11	答え 2 甲骨文字	中国最古の王朝とされる殷では、政治の重要な事柄を決定する際に神の意志を問う占いが行われていました。その占いの結果を亀の甲羅（甲）や動物の骨（骨）に刻んで記録したものが、現在の漢字のもとになった甲骨文字です。この文字が発見された都の跡は「殷墟（いんきょ）」と呼ばれ、当時の高度な文明を伝えています。
問12	答え 1 相沢忠洋が火山灰の地層から打製石器を発見し、更新世の日本列島に人が居住していたことが証明された。	岩宿遺跡の発見以前は、日本列島の歴史は縄文時代から始まると信じられていました。相沢忠洋が関東ローム層という更新世（氷河時代）に堆積した地層から打製石器を見つけたことで、土器出現前の古い時代に人類が活動していた証拠となりました。他の選択肢にある水田は弥生時代、金印や埴輪はそれ以降の時代の特徴です。

人類の出現と文明ブリン

名前

問1 秦の始皇帝が、中国の北部に「万里の長城」を築き、大規模な防壁を整備した歴史的な背景や目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 京都公立入試 類似)

1. 北方の遊牧民の侵入を防ぎ、国内の安定を図るため
2. 東南アジア諸国との交易を独占し、経済を活性化させるため
3. 仏教を国教として保護し、巡礼者のための道を整備するため
4. 国内の農民が勝手に国外へ逃亡するのを物理的に遮断するため

問2 中国の黄河流域で栄えた古代王朝である「殷（商）」において、亀の甲羅や牛の骨に刻んで用いられ、現在の漢字の原型となったとされる文字を何といいますか。 (2020年 三重公立入試 類似)

1. 甲骨文字
2. 金文
3. 楔形文字
4. 象形文字

問3 アレクサンドロス大王の東方遠征によって、ギリシャの文化とオリエントの文化が結び付いて生まれた文化を何と言いますか。また、その文化の影響が、奈良県にある法隆寺のどのような場所に見られるとされていますか。正しい組み合わせを選んでください。 (2022年 岐阜公立入試 類似)

1. ヘレニズム文化であり、法隆寺の金堂に描かれた壁画
2. ヘレニズム文化であり、法隆寺の五重塔に納められた塑像
3. ルネサンス文化であり、法隆寺の金堂に描かれた壁画
4. ルネサンス文化であり、法隆寺の五重塔に納められた塑像

問4 古代メソポタミアにおいて、粘土板に文字を刻んで情報を記録する仕組みが発達した背景として、当時の社会状況をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 奈良公立入試 類似)

1. 都市国家の運営において、収穫した農産物の量や交易の記録を正確に残す必要があったため
2. 巨大な墳墓の壁面に、王の死後の世界を描いた物語を装飾として残す必要があったため
3. 亀の甲羅や動物の骨を焼き、そのひび割れの形から国の吉凶を占う儀式を重視したため
4. 仏教の教えを周辺諸国に広めるため、持ち運びが可能な軽い素材に経典を記す必要があったため

問5 1949年、相沢忠洋によって関東地方の赤土の層（関東ローム層）から石器が発見されたことで、日本列島にも土器出現以前の文化が存在したことが初めて証明されました。この発見の舞台となった群馬県の遺跡の名前として適切なものを選びなさい。 (2017年 群馬県公立入試 類似)

1. 岩宿遺跡
2. 三内丸山遺跡
3. 吉野ヶ里遺跡
4. 登呂遺跡

問6 世界で最も早く文明が誕生したとされる四大文明の共通点として、なぜそれらの地域が大河の流域であったのか、その理由と背景を説明した文として最も適切なものを選びなさい。 (2019年 沖縄公立入試 類似)

1. 大河の周辺は山岳地帯に囲まれており、外敵の侵入を防ぐのに適した要塞のような地形だったから。
2. 定期的な川の氾濫が肥沃な土壌を運び、農業の生産性が向上したことで、人口が増え集団を統治する国家が必要になったから。
3. 川の流れを利用した水力発電が可能になり、早期に工業化が進んだことで、周辺地域を支配する軍事力を手に入れたから。
4. 広大な砂漠地帯において、唯一の交通路である大河を独占することで、シルクロードを通じた東西貿易の利益を独占できたから。

問7 古代文明で使われた文字の記録方法について、メソポタミア文明における特徴を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 亀の甲羅や動物の骨に、鋭利な道具で占いの結果などを刻み込んだ。
2. パピルスという植物から作られた紙のようなものに、インクを用いて書き残した。
3. 柔らかい粘土板に、植物の茎を押し付けて独特の形状の跡を刻んだ。
4. 石碑や神殿の壁面に、王の業績を称えるために具象的な絵を用いた文字を彫った。

問8 メソポタミア文明において生み出され、現代の私たちの生活における「時間」や「暦」の考え方の基礎となっている数学的・天文学的知識の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2017年 三重公立入試 類似)

1. 1週間を7日とする制度と、60進法の活用
2. 1年を365日とする太陽暦と、10進法の活用
3. ゼロの概念の発見と、十進位取り記数法
4. 二十四節気の導入と、太陰太陽暦の作成

問9 18世紀後半から、オーストラリアがイギリスの支配下に置かれ、開拓や資源の獲得の拠点となっていた歴史的な状態を指す用語として、最も適切なものを選択してください。 (2016年 山口公立入試 類似)

1. 植民地
2. 保護国
3. 自治領
4. 委任統治領

問10 古代文明の一つであるエジプト文明において、天文学や数学などの科学技術が高度に発達した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 沖縄公立入試 類似)

1. ナイル川の氾濫時期を予測し、洪水後の土地を正確に測り直す必要があったため
2. 甲骨文字を用いて亀の甲羅で占うことで、政治的な意思決定を行うため
3. ハンムラビ法典のような厳しい法律を運用するために、文字の記録を重視したため
4. 都市国家アテネとの交易を円滑にするため、共通の度量衡を確立する必要があったため

問11 弥生時代に現れた青銅器と、奈良時代に現れた和同開珎。これら2つの資料の使われ方や目的の違いを説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2014年 愛媛公立入試 類似)

1. 青銅器は狩猟の道具として実用的に使われたが、和同開珎は死者を弔うための副葬品として使われた。
2. 青銅器は主に祭りの道具などの宝物として使われたが、和同開珎は国家の権威を示し、建設費用をまかなう等の目的で発行された。
3. 青銅器は大陸との貿易を円滑にするための通貨であったが、和同開珎は国内の物々交換を禁止するために作られた。
4. 青銅器は稲作の収穫効率を高める農具として使われたが、和同開珎は寺院を建立する際の地面を固める材料として使われた。

問12 古代ギリシャのアテネでは、市民が集まって直接話し合い決定を行う政治が行われていた。市民が公務や軍事に従事する一方で、重労働は奴隷が担っていたとされる。このように、有権者自身が議論の場に参加して意思決定を行う政治形態を何というか。 (2025年 青森県公立入試 類似)

1. 直接民主政
2. 間接民主政
3. 独裁政治
4. 立憲君主制

問13 バチカンのサン・ピエトロ大聖堂の歴史的背景について記されたレポートにおいて、11世紀末から開始されたキリスト教徒による大規模な軍事遠征の目的として最も適切な説明はどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)

1. イスラム教勢力の支配下にあった聖地エルサレムをキリスト教徒の手に取り戻すこと
2. 教会による免罪符（贖宥状）の販売に抗議し、聖書の教えに基づく信仰を確立すること
3. キリスト教の教義に反する考えを持つ人々を裁判にかけ、信仰の純粋性を守ること
4. シルクロードを通じた東洋との交易を独占し、新しい航路を確保すること

答え合わせ・解説

問1	答え 1 北方の遊牧民の侵入を防ぎ、国内の安定を図るため	当時の中国にとって、北方から機動力を活かして攻め込んでくる遊牧民（匈奴）の存在は大きな脅威でした。始皇帝は中国全土を統一した後、国家の安全保障のために大規模な土木工事を行い、これら遊牧民の侵入を阻止するための防壁を築きました。これが万里の長城の起源であり、その後の王朝でも修復や改修が繰り返されました。
問2	答え 1 甲骨文字	殷の時代には、国家の重要な事柄を占いで決めており、その結果を記録するために亀の甲羅や牛の骨に文字が刻まれました。これがのちの漢字の直接の祖先となり、中国文明の大きな特徴の一つとなっています。
問3	答え 1 ヘレニズム文化であり、法隆寺の金堂に描かれた壁画	紀元前4世紀のアレクサンドロス大王の遠征をきっかけに、ギリシャの文化が東方のオリエント文化と融合してヘレニズム文化が誕生しました。この文化はシルクロードを通して東アジアまで伝わり、日本の飛鳥文化にも影響を与えました。法隆寺金堂壁画に見られる豊かな肉体表現などは、その代表的な事例として知られています。
問4	答え 1 都市国家の運営において、収穫した農産物の量や交易の記録を正確に残す必要があったため	大きな河川の流域で農業が発展し、多くの人々が暮らす都市国家が形成されるようになると、蓄えられた余剰産物の管理や、遠方との交易の内容を正確に記録・保存する必要が生じました。文字は、複雑化した社会の運営や徴税を円滑に行うための実用的な統治ツールとして発明されました。
問5	答え 1 岩宿遺跡	群馬県の岩宿遺跡での発見は、日本の歴史学において画期的な出来事でした。それまでは、火山の噴火による火山灰が堆積した関東ローム層からは人類の痕跡は見つからないと考えられていましたが、相沢忠洋がこの地層から打製石器を発見したことで、日本にも氷河時代に人類が生活していた「旧石器時代」があったことが確定しました。
問6	答え 2 定期的な川の氾濫が肥沃な土壌を運び、農業の生産性が向上したことで、人口が増え集団を統治する国家が必要になったから。	大河の流域では、氾濫によって運ばれる栄養豊富な土を利用して大規模な農業が可能になりました。治水や灌漑（かんがい）などの大規模な作業を統率するために強力な指導者が現れ、それがやがて国家の形成へとつながりました。これに伴い、記録のための文字や暦も発達しました。
問7	答え 3 柔らかい粘土板に、植物の茎を押し付けて独特の形状の跡を刻んだ。	メソポタミア文明が成立した地域では、紙の原料となる植物よりも粘土が豊富に得られたため、記録媒体として粘土板が活用されました。乾く前の柔らかい粘土に茎を押し付けて書く技法が、楔形文字特有の形を生み出しました。他の選択肢は、中国文明の甲骨文字や、エジプト文明のヒエログリフに関する記述です。
問8	答え 1 1週間を7日とする制度と、60進法の活用	メソポタミア文明では、天体の動きを観察する天文学が発達し、そこから1週間を7日（七曜制）とする制度が考案されました。また、数学においては、60をひとつの区切りとする「60進法」が使われていました。この考え方は、現代においても1分を60秒、1時間を60分とする時間の単位や、円の角度を360度とする基準として受け継がれています。
問9	答え 1 植民地	1788年にイギリスの船団がシドニーに到着して以降、オーストラリアはイギリスの流刑地や定住地として開発されました。このように、ある国が自国の主権を国外に広げ、軍事的・経済的に支配した土地を植民地と呼びます。当初は先住民であるアボリジニの居住地でしたが、イギリスはこれらを「無主の地」として支配を強めました。
問10	答え 1 ナイル川の氾濫時期を予測し、洪水後の土地を正確に測り直す必要があったため	「エジプトはナイルのたまもの」という言葉がある通り、エジプトの生活はナイル川の恩恵を受けていました。毎年の増水時期を知るために天文学が発達して太陽暦が作られ、また、洪水によって境界が不明になった土地を再区画するために測量技術や幾何学（数学）が発達しました。
問11	答え 2 青銅器は主に祭りの道具などの宝物として使われたが、和同開珎は国家の権威を示し、建設費用をまかなう等の目的で発行された。	弥生時代の青銅器（銅鐸、銅剣、銅矛など）は、当初は武器の形をしていましたが、次第に大型化し、豊作を祈るなどの祭りの道具として用いられるようになりました。一方、奈良時代の和同開珎は、律令制のもとで国家の経済的基盤を固め、都の造営などの支出をまかなうために発行された貨幣です。資料の用途の変化は、単なる道具の進化ではなく、社会の仕組みが「村の共同体」から「統一国家」へと発展したことを示しています。
問12	答え 1 直接民主政	アテネで行われていたのは、市民全員（ただし成年男性のみ）が民会に出席して直接議決権を行使する政治形態であり、これを直接民主政と呼ぶ。これに対し、現在の多くの国のように選挙で選ばれた代表者が議会で政治を行う仕組みを間接民主政（議会制民主主義）という。
問13	答え 1 イスラム教勢力の支配下にあった聖地エルサレムをキリスト教徒の手に取り戻すこと	十字軍はローマ教皇の呼びかけに呼応したヨーロッパ諸国の王や貴族によって組織されました。主な目的はイスラム教勢力から聖地エルサレムを奪還することでしたが、遠征の過程で地中海東岸への進出や商業的利益の確保といった側面も持つようになり、西ヨーロッパ社会が外の世界へと拡大する契機となりました。

人類の出現と文明ブリン

名前

- 問1 バチカンのサン・ピエトロ大聖堂の歴史的背景について記されたレポートにおいて、11世紀末から開始されたキリスト教徒による大規模な軍事遠征の目的として最も適切な説明はどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--------------------------------------|
| 1. イスラム教勢力の支配下にあった聖地エルサレムをキリスト教徒の手に取り戻すこと | 2. 教会による免罪符（贖宥状）の販売に抗議し、聖書の教えに基づく信仰を確立すること | 3. キリスト教の教義に反する考えを持つ人々を裁判にかけ、信仰の純粋性を守ること | 4. シルクロードを通じた東洋との交易を独占し、新しい航路を確保すること |
|---|--|--|--------------------------------------|
- 問2 古代エジプト文明の特色について述べた説明として、文化的な特徴と建築物の組み合わせが正しいものはどれですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 事物の形をかたどった象形文字（ヒエログリフ）を使用し、王の墓とされるピラミッドを建設した。 | 2. 粘土板に刻まれた楔形文字を使用し、天体観測の結果をピラミッドの壁面に記録した。 | 3. 亀の甲羅などに刻まれた甲骨文字を使用し、ナイル川のはんらんを鎮める儀式を行った。 | 4. 太陽暦を用いてはんらん時期を予測し、ジグuratと呼ばれる聖なる塔を各地に建設した。 |
|--|--|---|---|
- 問3 中国の古代文明における道具の使用や、文字が果たした役割についての説明として、歴史的な背景を踏まえた正しい記述はどれですか。 (2019年 山形公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 王が政治や軍事の重要な決定を行うための占いの記録に文字が使われ、祭祀の道具として青銅器が発達した。 | 2. 農作業を効率化するために鉄製の農具が広く普及し、土地の所有権を明確にするために文字が発明された。 | 3. ナイル川の氾濫を予測するために天文学が発達し、その計算結果を記録するために文字が独占的に使われた。 | 4. 巨大な王の墓を建設する際の労働力を管理するため、石碑にその功績とともに文字が刻まれた。 |
|--|---|--|--|
- 問4 南アメリカのアンデス山脈の急斜面に位置し、15世紀頃にインカ帝国によって築かれた、精緻な石積み の遺構が特徴的な世界遺産の名称として正しいものを選択してください。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|-------------|--------------|
| 1. マチュピチュ | 2. コロッセオ | 3. モヘンジョ・ダロ | 4. アンコール・ワット |
|-----------|----------|-------------|--------------|
- 問5 紀元前1600年ごろの中国・殷王朝において、政治の指針を決める占いの結果などを記録するために用いられた文字は何と呼ばれますか。 亀の甲羅や動物の骨に刻まれ、現在の漢字の原型となったものを次の中から選びなさい。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|-----------|------------|
| 1. 甲骨文字 | 2. 楔形文字 | 3. ヒエログリフ | 4. フェニキア文字 |
|---------|---------|-----------|------------|
- 問6 イスラム教が成立した7世紀末から8世紀初め頃、日本では奈良県に高松塚古墳が造られました。この古墳の石室壁画には、古代中国の思想に基づき、方位を守る「四神（ししん）」と呼ばれる青龍・白虎・朱雀・玄武などの動物や、当時の人々の姿が描かれています。このような壁画の内容から、当時の日本が最も強く影響を受けていたと考えられる文化の地域はどこですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|---------|--------|
| 1. 中国 | 2. インド | 3. ペルシャ | 4. ローマ |
|-------|--------|---------|--------|
- 問7 アフリカ大陸の地図を確認すると、経線や緯線を利用した直線的な国境線が多く見られます。このような国境線が画定された歴史的背景と、その後の影響について述べた文として最も適切なものを選びなさい。 (2021年 奈良公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. ヨーロッパ諸国による植民地支配の際、現地の民族分布を無視して一方的に境界線が引かれたため、独立後も紛争の原因となった。 | 2. 民族自決の原則に基づき、アフリカの各民族が話し合いを通じて、公平に資源を分配できるよう直線の境界線を定めた。 | 3. 広大な砂漠や熱帯雨林において、山脈や河川などの自然の地形を正確に境界線として利用した結果、直線的な国境となった。 | 4. 第二次世界大戦後に独立を達成した際、レアメタルの産出地域を周辺国で共有するために、国際連合が新たに引き直した。 |
|--|---|---|--|
- 問8 かつて日本列島には土器が出現する前の時代は存在しないと考えられていましたが、1949年に相沢忠洋氏が群馬県にある特定の遺跡で、火山灰が堆積した関東ローム層の中から石を打ち欠いて作られた道具を発見したことで、その定説が覆されました。このとき発見された道具の名称と、遺跡名の組み合わせとして正しいものを選択してください。 (2023年 三重公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|--------------|----------------|----------------|
| 1. 打製石器・岩宿遺跡 | 2. 磨製石器・岩宿遺跡 | 3. 打製石器・三内丸山遺跡 | 4. 磨製石器・三内丸山遺跡 |
|--------------|--------------|----------------|----------------|
- 問9 中世ヨーロッパにおいて、十字軍の遠征が行われたことがその後の社会に与えた背景や影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 山梨公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 遠征を通じてイスラム世界の進んだ文化や学問が流入し、ルネサンスの遠因となった | 2. 遠征に成功したことでローマ教皇の権威が絶対的なものとなり、宗教改革を未然に防いだ | 3. 遠征軍がアジアから持ち帰った茶の栽培が広まり、ヨーロッパの農業構造が変化した | 4. イスラム勢力が完全に消滅したため、キリスト教諸国によるアメリカ大陸の植民地化が始まった |
|---|---|---|--|
- 問10 紀元前3世紀に中国を初めて統一した秦の始皇帝が行った政策について、その内容として正しいものはどれですか。 (2017年 大阪公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 万里の長城を修築し、北方の遊牧民族の侵入を防ごうとした。 | 2. シルクロードを通じた西方との貿易を独占し、仏教を国教とした。 | 3. 科挙の制度を整え、家柄にとらわれず優秀な人材を官吏として採用した。 | 4. 文字や貨幣の統一を禁じ、各地の伝統的な文化や経済の自立を促した。 |
|---------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
- 問11 18世紀後半から20世紀前半にかけてオーストラリアを統治し、メルボルンの街並みに見られるような石造りの建築物やキリスト教の教会といった、ヨーロッパの都市に見られるような景観を形成する要因となった国はどこですか。 (2026年 奈良公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|---------|----------|
| 1. イギリス | 2. アメリカ合衆国 | 3. オランダ | 4. ポルトガル |
|---------|------------|---------|----------|
- 問12 イスラム教の教義が、当時の社会において受け入れられた背景やその仕組みについて説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 沖縄公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 唯一神への絶対的な帰依とともに、神の前での平等や信者間の相互扶助を説いたことが、部族を超えた人々の結びつきを強めた。 | 2. 各地の伝統的な神々をすべて認める多神教的な立場をとったため、商売繁盛を願う商人層から広く支持された。 | 3. 生まれながらの厳格な身分制度を肯定し、それぞれの階級に応じた義務を果たすことが救済への唯一の道であると説いた。 | 4. 特定の聖典を持たず、文字の読めない人々でも日々の生活習慣だけで救われるという簡便な教理を特徴とした。 |
|---|---|--|---|
- 問13 古代エジプト文明の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|---|--|
| 1. ナイル川の氾濫時期を知るために天文学が発達し、太陽暦が作られた。 | 2. チグリス・ユーフラテス川の流域で栄え、粘土板に楔形文字が刻まれた。 | 3. 時間をはかる単位として60進法が発明され、1週間を7日とする制度が生まれた。 | 4. 各地に都市国家（ポリス）が成立し、市民による進んだ民主政治が行われた。 |
|-------------------------------------|--------------------------------------|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 イスラム教勢力の支配下にあった聖地エルサレムをキリスト教徒の手に取り戻すこと	十字軍はローマ教皇の呼びかけに呼応したヨーロッパ諸国の王や貴族によって組織されました。主な目的はイスラム教勢力から聖地エルサレムを奪還することでしたが、遠征の過程で地中海東岸への進出や商業的利益の確保といった側面も持つようになり、西ヨーロッパ社会が外の世界へと拡大する契機となりました。
問2	答え 1 事物の形をかたどった象形文字（ヒエログリフ）を使用し、王の墓とされるピラミッドを建設した。	エジプト文明では、事物の形を簡略化した象形文字（ヒエログリフ）が用いられ、王（ファラオ）の権力を象徴するピラミッドなどの巨大建築物が造られました。楔形文字やジグuratはメソポタミア文明、甲骨文字は中国文明の特徴であり、それぞれ発生した地域や背景が異なります。
問3	答え 1 王が政治や軍事の重要な決定を行うための占いの記録に文字が使われ、祭祀の道具として青銅器が発達した。	殷の時代、政治は占いによって神の意志を問うことで行われており、その内容を刻んだのが甲骨文字です。また、この時期に発達した青銅器は、主に神を祀る儀式（祭祀）や、王の権威を示すための器として作られました。鉄製の農具が普及するのは後の時代のことです。他の選択肢はエジプト文明などの特徴を含んでいます。
問4	答え 1 マチュピチュ	マチュピチュは、現在のペルーにあるインカ帝国の遺跡です。標高約2400メートルの尾根に位置しており、鉄製の道具を持たなかったにもかかわらず、巨大な石を隙間なく組み合わせる高度な石造建築技術が用いられています。その立地から「空中都市」とも呼ばれ、世界文化遺産に登録されています。
問5	答え 1 甲骨文字	古代中国の殷では、王が亀の甲羅や牛の肩甲骨に熱を加えてひび割れを作り、その形を見て神の意思を占っていました。その占いの内容や結果を骨に刻んで記録したものが甲骨文字です。これは物の形をかたどった象形文字であり、長い年月をかけて形が整えられ、現在の漢字へと発展しました。
問6	答え 1 中国	高松塚古墳の壁画に描かれた四神の思想や人物の服装は、当時の唐（中国）の文化の影響を強く反映したものです。この時期の日本は、遣唐使などを通じて大陸の高度な技術や思想、宗教、政治制度を積極的に導入し、国家の形成を進めていました。
問7	答え 1 ヨーロッパ諸国による植民地支配の際、現地の民族分布を無視して一方的に境界線が引かれたため、独立後も紛争の原因となった。	19世紀後半、ヨーロッパ諸国はベルリン会議などを通じて、アフリカを分割し植民地化しました。その際、現地に住む人々の言語、文化、民族の居住範囲といった実態を考慮せず、宗主国の利害関係を優先して経緯線などで機械的に境界線を引きました。この「人為的境界」は、一つの民族を分断したり、歴史的に対立していた民族を同じ国の中に閉じ込めたりすることにつながり、独立後の国境紛争や内戦、さらにはレアメタルなどの資源をめぐる対立が激化する大きな要因となりました。
問8	答え 1 打製石器・岩宿遺跡	群馬県の岩宿遺跡で打製石器が発見されたことにより、日本列島に旧石器時代（土器出現前の時代）が存在したことが初めて証明されました。打製石器は石を打ち欠いて鋭い刃を作った道具で、これに対して石を磨いて形を整えたものは磨製石器と呼ばれ、後の新石器時代（日本では縄文時代以降）に普及しました。三内丸山遺跡は青森県にある縄文時代の大規模な集落跡です。
問9	答え 1 遠征を通じてイスラム世界の進んだ文化や学問が流入し、ルネサンスの遠因となった	十字軍の遠征は軍事的には失敗に終わりましたが、東方との交流が活発化したことで、当時のヨーロッパよりも進んでいたイスラム世界の医学、天文学、古代ギリシャの文献などが流入しました。これが後の人間中心の文化運動であるルネサンスにつながる重要な背景となりました。
問10	答え 1 万里の長城を修築し、北方の遊牧民族の侵入を防ごうとした。	始皇帝は、中国を統一した後に北方民族である匈奴（きょうど）の侵入を警戒し、それまで各地の国々が築いていた城壁をつなぎ合わせて大規模な万里の長城を修築しました。また、中央集権体制を強めるために、それまでバラバラだった文字、貨幣、度量衡（重さや長さの単位）を統一する政策を断行しました。
問11	答え 1 イギリス	オーストラリアは18世紀後半からイギリスの植民地となり、入植が進められました。その過程で、宗主国であるイギリスを中心としたヨーロッパの文化や建築技術が持ち込まれたため、現在もメルボルンなどの都市部には重厚な石造りの建物や教会が数多く残されています。
問12	答え 1 唯一神への絶対的な帰依とともに、神の前での平等や信者間の相互扶助を説いたことが、部族を超えた人々の結びつきを強めた。	イスラム教は、神の前での平等を説き、富の再分配としての喜捨（寄付）や相互扶助を重んじました。この教理が、それまでの血縁や部族単位の対立を乗り越え、イスラム共同体（ウンマ）という新しい社会的な繋がりを形成する大きな要因となりました。
問13	答え 1 ナイル川の氾濫時期を知るために天文学が発達し、太陽暦が作られた。	エジプトは「ナイルのたまもの」と呼ばれるように、ナイル川の定期的な氾濫が肥沃な土壌をもたらし、農業を発展させました。この氾濫の時期を正確に知る必要から天文学が進歩し、太陽暦が生まれました。他の選択肢にある楔形文字、60進法、1週間を7日とする制度はメソポタミア文明の特徴であり、都市国家（ポリス）や民主政治は古代ギリシャの特徴です。

人類の出現と文明ブリン
ト

名前

問1	15世紀末のヨーロッパで作られた地球儀には描かれていなかった南アメリカ大陸で、独自の発展を遂げたインカ帝国の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 （2026年 大阪公立入試 類似）			
	1. アンデス山脈の厳しい自然環境に適応するため、高地の斜面に段々畑を造り、高度な石造技術を用いた都市を建設した。	2. メキシコ高原を中心に、巨大なピラミッド型神殿を持つテノチティランを首都として栄えたが、スペイン人に滅ぼされた。	3. ユカタン半島を中心に、高度な天文学や数学を発達させ、独自の象形文字や精密な暦を使用する都市国家を形成した。	4. 大西洋と地中海を結ぶ交易の中継地として、鉄製の武器や馬車を用いることで広大な領土を支配する中央集権国家を築いた。
問2	中国の黄河流域で栄えた古代王朝である「殷（商）」において、亀の甲羅や牛の骨に刻んで用いられ、現在の漢字の原型となったとされる文字を何といいますか。 （2020年 三重公立入試 類似）			
	1. 甲骨文字	2. 金文	3. 楔形文字	4. 象形文字
問3	古代エジプトにおいて、天体観測が発達し「太陽暦」が作られた背景として、ナイル川の自然環境と農業の関係から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 （2026年 茨城公立入試 類似）			
	1. ナイル川が定期的に氾濫する時期を予測し、農作業の計画を立てる必要があったため	2. ナイル川の急激な水量の減少を予測し、砂漠化を防ぐための灌漑施設を稼働させるため	3. ナイル川の交易路が地中海とつながる時期を特定し、麦の輸出額を増やすため	4. ナイル川の上流にあるピラミッド建設現場へ、石材を運ぶための増水期を知るため
問4	現在のペルーなどに見られる、精巧に組みまれた石壁を特徴とするインカ帝国の遺構に関連して、この地域の歴史的背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 （2024年 新潟県公立入試 類似）			
	1. 16世紀にスペインが侵攻して帝国を征服し、植民地支配を通じて言語や宗教に大きな影響を与えた。	2. 16世紀にポルトガルが大陸全体を植民地化し、先住民の伝統的な石造り技術をヨーロッパへ伝えた。	3. 18世紀にスペインやイギリスが勢力を争い、先住民を味方につけたイギリスがアンデス全域を支配した。	4. 18世紀にオランダが先住民の文明を保護する目的で進出し、キリスト教を禁止する政策をとった。
問5	紀元前16世紀ごろ、中国の黄河流域におこった古代国家において、神への問いかけや占いの結果を記録するために、亀の甲羅や牛の骨に刻んで使われていた文字を何と言いますか。 （2019年 千葉県公立入試 類似）			
	1. 甲骨文字	2. 象形文字	3. 楔形文字	4. インダス文字
問6	シルクロードを介した東西の文化交流に関する記述として、歴史的背景をふまえた最も適切な説明はどれですか。 （2016年 京都公立入試 類似）			
	1. 中国から西方へ絹織物が運ばれる一方で、西方からはぶどうなどの産物や仏教が伝わり、内陸のオアシス都市が中継地として栄えた。	2. 中国の特産品である綿織物をヨーロッパへ届けるため、内陸部に大規模な鉄道網が整備され、敦煌などの都市が工業都市として発展した。	3. 西方から中国へ紙の製造技術が伝えられたことで、中国国内での仏教の布教が急速に進み、シルクロード沿いに寺院が建立された。	4. 地中海沿岸で生産された絹織物を中国へ運ぶことを主目的として、アジア諸国が協力して広大な交易路を管理・運営した。
問7	日本で小野妹子が遣隋使として派遣された607年頃を含む7世紀初めに、アラビア半島でムハンマドによって創始され、その後の世界の歴史に大きな影響を与えた宗教は何ですか。 （2021年 新潟県公立入試 類似）			
	1. イスラム教	2. キリスト教	3. 仏教	4. ユダヤ教
問8	アフリカ大陸を北に向かって流れ、その流域において象形文字の使用やピラミッドの建設など、高度な文化を持つ古代文明が成立した河川の名称として正しいものを選んでください。 （2018年 大阪公立入試 類似）			
	1. ナイル川	2. メコン川	3. ユーフラテス川	4. ラブラタ川
問9	紀元前1600年ごろに成立した中国の殷の都の跡からは、亀の甲羅や動物の骨に鋭い線で刻まれた原始的な文字が数多く出土しています。この文字が使用された主な目的として正しいものはどれですか。 （2024年 長崎公立入試 類似）			
	1. 政治や軍事などの重要な事柄を決定するための占いの記録	2. 周辺諸国との交易を行う際の品目や数量を管理するための事務処理	3. 支配者の功績を後世に伝えるために青銅器の表面に鑄込むための装飾	4. 民衆に対して国家の法律や道徳を広く周知するための布告文
問10	世界史と日本史の年代を照らし合わせたとき、7世紀の出来事の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2019年 千葉県公立入試 類似）			
	1. ムハンマドによるイスラム教の成立と、日本での「大化」の元号の使用	2. イエスによるキリスト教の成立と、日本での仏教の伝来	3. シャカによる仏教の創始と、日本での稲作の普及	4. 孔子による儒教の成立と、日本での古墳の築造
問11	紀元前3世紀に中国を初めて統一した秦の始皇帝が行った政策について、その内容として正しいものはどれですか。 （2017年 大阪公立入試 類似）			
	1. 万里の長城を修築し、北方の遊牧民族の侵入を防ごうとした。	2. シルクロードを通じた西方との貿易を独占し、仏教を国教とした。	3. 科挙の制度を整え、家柄にとらわれず優秀な人材を官吏として採用した。	4. 文字や貨幣の統一を禁じ、各地の伝統的な文化や経済の自立を促した。
問12	日本列島において、人々がナウマンゾウなどの大型動物を狩り、植物の採集を行って生活していた、土器が使用される前の時代に、主に使われていた石器の名称として適切なものを選びなさい。 （2017年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 打製石器	2. 磨製石器	3. 骨角器	4. 金属器
問13	西アジアのチグリス川とユーフラテス川という2つの大河の流域で栄えた古代文明について、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 （2017年 三重公立入試 類似）			
	1. ナイル川の氾濫を予測するために太陽暦が作られ、象形文字が使用された。	2. インダス川流域で、下水道などの設備を整えた計画的な都市が建設された。	3. チグリス・ユーフラテス両河の流域で、粘土板に刻まれるくさび形文字が発達した。	4. 黄河流域で青銅器が作られ、亀の甲羅などに刻まれる甲骨文字が使われた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 アンデス山脈の厳しい自然環境に適応するため、高地の斜面に段々畑を造り、高度な石造技術を用いた都市を建設した。	インカ帝国は標高の高いアンデス山脈に位置していたため、限られた土地を有効に活用する段々畑の技術や、地震にも耐えるほど精巧な石造建築が特徴です。メキシコ高原で栄えたのはアステカ文明、ユカタン半島で栄えたのはマヤ文明であり、地理的条件や文明の特色によって明確に区別されます。
問2	答え 1 甲骨文字	殷の時代には、国家の重要な事柄を占いで決めており、その結果を記録するために亀の甲羅や牛の骨に文字が刻まれました。これがのちの漢字の直接の祖先となり、中国文明の大きな特徴の一つとなっています。
問3	答え 1 ナイル川が定期的に氾濫する時期を予測し、農作業の計画を立てる必要があったため	古代エジプトでは、ナイル川が毎年ほぼ決まった時期に氾濫し、周囲に肥沃な土壌を残していく性質を利用して農業が行われました。この氾濫の時期を正確に知ることは、種まきなどの農作業の予定を立てる上で不可欠だったため、天体観測に基づいた太陽暦が発達しました。ピラミッドは王の墓であり、建設と暦の関係はこの選択肢の文脈には当てはまりません。
問4	答え 1 16世紀にスペインが侵攻して帝国を征服し、植民地支配を通じて言語や宗教に大きな影響を与えた。	アンデス山脈を中心に栄えたインカ帝国は、16世紀にスペインの征服者によって滅ぼされました。その後、スペインによる植民地支配が始まり、先住民は過酷な労働を強いられたり、ヨーロッパから持ち込まれた病気によって人口が激減したりするなどの大きな被害を受けました。支配とともにキリスト教の布教も進められたため、「キリスト教の禁止」という説明は誤りです。また、この地域において大きな影響力を持ったのはポルトガルではなくスペインです。
問5	答え 1 甲骨文字	古代中国の殷では、政治の重要な決定を占いに頼っており、その内容を記録した文字が現在の漢字の原型となりました。エジプトの象形文字、メソポタミアの楔形文字、インダス文明のインダス文字など、他の古代文明で使われていた文字との違いを区別しておく必要があります。
問6	答え 1 中国から西方へ絹織物が運ばれる一方で、西方からはぶどうなどの産物や仏教が伝わり、内陸のオアシス都市が中継地として栄えた。	シルクロードは単なる物資の輸送路ではなく、宗教や技術、文化が混ざり合う重要な役割を果たしました。中国側からは高品質な絹織物が輸出され、西方（中央アジアや西アジア）からはぶどうなどの植物や、インド起源の仏教が中国へと伝来しました。この交易を支えたのが砂漠点在するオアシス都市であり、敦煌はその代表的な拠点の一つとして仏教美術などの文化が花開きました。
問7	答え 1 イスラム教	ムハンマドは7世紀初めに唯一神アッラーの啓示を受けたとして、アラビア半島のメッカでイスラム教を開きました。この時期の日本は飛鳥時代にあたり、聖徳太子（厩戸王）が隋（中国）へ小野妹子を派遣して大陸の制度を学ばせ、中央集権国家の確立を目指していた時期と重なります。
問8	答え 1 ナイル川	エジプト文明は、世界最長級の河川であるナイル川の流域で発達しました。選択肢のうち、メコン川は東南アジア、ユーフラテス川は西アジアのメソポタミア文明、ラブラタ川は南アメリカ大陸を流れる河川です。
問9	答え 1 政治や軍事などの重要な事柄を決定するための占いの記録	殷（商）の時代、王は神意を問う「占い」によって、戦争の成否や収穫の見通しなどの国政を決定していました。亀の甲羅や牛の肩甲骨に熱を加え、生じたひび割れの形によって吉凶を判断し、その結果を刻みつけたものが甲骨文字です。これは現在私たちが使用している漢字の直接の祖先にあたります。
問10	答え 1 ムハンマドによるイスラム教の成立と、日本での「大化」の元号の使用	イスラム教は7世紀に成立し、同じ時期の日本では645年に大化の改新が始まり、日本初の元号である「大化」が制定されました。キリスト教の成立は1世紀（日本は弥生時代）、仏教の成立は紀元前（日本は縄文～弥生移行期）、儒教の成立も紀元前であり、いずれも7世紀の出来事ではありません。
問11	答え 1 万里の長城を修築し、北方の遊牧民族の侵入を防ごうとした。	始皇帝は、中国を統一した後に北方民族である匈奴（きょうど）の侵入を警戒し、それまで各地の国々が築いていた城壁をつなぎ合わせて大規模な万里の長城を修築しました。また、中央集権体制を強めるために、それまでバラバラだった文字、貨幣、度量衡（重さや長さの単位）を統一する政策を断行しました。
問12	答え 1 打製石器	石器が出現する前の旧石器時代には、石を打ち欠いて作った打製石器が使われていました。この時代の後の縄文時代になると、石を磨いて作る磨製石器や、食料を煮炊きするための土器が使用されるようになります。石器の作り方の違いは、旧石器時代と新石器時代（日本では縄文時代以降）を区別する重要な指標です。
問13	答え 3 チグリス・ユーフラテス両河の流域で、粘土板に刻まれるくさび形文字が発達した。	メソポタミア文明は、現在のイラク周辺を流れるチグリス川とユーフラテス川の間に広がる地域で発展しました。この地域では農耕や商業が盛んに行われ、その記録を残すために粘土板にくさびのような形の文字を刻む「くさび形文字」が発明されました。また、天文学や数学も高度に発達し、農作業や儀式的目安となる暦が整備されました。